

北海道
大 学
附 属
図 書 館
年 報
2020

Hokkaido University Library
Annual Report



Contents

館長巻頭言	1
平成 31（令和元）年度 Topics	
1. 教育学習支援	3
2. 研究支援	9
3. 社会貢献と国際化	15
4. その他	18
令和 2 年度重点項目	18
連携事業	20
ガイダンス・講習会	21
活動日誌	23
学外講師派遣等	26
統計	27
図書館委員会名簿	31
組織図	32

北海道大学附属図書館のミッション

附属図書館は、北海道大学の 4 つの基本理念「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」に基づき、人類の知的資産である学術情報の集積・提供・発信を行い、未来に向けて、知の交流・創成の場として機能する。その実現のために、以下の目標掲げる。

教育学習支援

豊かな情報資源と快適かつ刺激的な学習空間を提供し、自ら学び、課題解決に取り組むことのできる学生の育成を支援する。

研究支援

世界水準の研究を推進するため、本学の研究者が必要とする情報資源を持続的に利用できる環境を整備する。また、本学の研究成果の保存と発信に責任を負う。

社会貢献と国際化

北海道地区における唯一の総合大学の図書館として、他図書館に対する支援を行い、地域住民の生涯学習を支援する。また、海外の大学図書館と協力関係を構築し、交流を推進する。

組織運営

学生、教職員及び研究者と連携・協働し、大学における教育研究支援機能を強化する組織づくりを目指す。図書館職員は図書館や学術情報流通に関する専門性に加え、大学を取り巻く社会の環境変化に対応できる専門性を磨く。

附属図書館年報 2020 年版の刊行に 当たって

北海道大学附属図書館の起源は、1876（明治9）年に札幌農学校の開校と同時に設置された「書籍室」にあり、1891（明治24）年に「書籍館」主任に就任した新渡戸稲造をもって初代館長としています。以来、附属図書館は本学の発展と歩みを共にし、現在では総蔵書数約379万冊、電子ジャーナル・電子ブック提供タイトル数約7万6千点、年間入館者数およそ142万人を誇るわが国有数の大学図書館に成長して来ました。また、本学の附属図書館は、全国の大学図書館の中であって、機関リポジトリ HUSCAP の拡充はもとより、国連寄託図書館としての国際協力カフェの主催、部局教員との連携による自然科学や社会科学の一般教養を深めるセミナー・シリーズの開催、学生の教育支援策の一環としての「英語多読マラソン」の実施や「アカデミックスキルガイド」の作成・公開、そして国立情報学研究所との連携など、種々の意欲的な取り組みでもよく知られるようになっていきます。

附属図書館の使命は、言うまでもなく、学術情報基盤の基軸をなす組織・施設として大学の教育・研究・社会貢献を支えるところにありますが、その具体的なあり方は時代の要請に応じて変化します。21世紀に入って社会や大学がICT革命やグローバル化の真只中にあり、地球規模の競争や拮抗が出現した変容している今日、附属図書館の果たすべき役割もまた大きく変化しつつあることは明かです。特に顕著な変化の一つは、しばしば強調されている「オープンアクセス」や「オープンサイエンス」といった言葉に象徴される、図書館の公共的な役割・機能の重要性です。学術論文等のリポジトリの拡充と自由なアクセスによって研究の発信・公開が加速され、新たな学問的知見の拡大が進むことに加えて、昨今では、公的研究資金を用いた研究成果について社会全体から広く容易な利用を可能にして知やイノベーションの創出に新たな道を開くことを目指すといった動きも促進されつつあります。これらの動向には、大学での学術的研究がアカデミズムの内だけでなく、社会的側面も有する全体的な知的活動であり、社会における公共的な財産であるという見方が含まれています。そして、この公共的な知識等の保存や維持に関わるという新たな

意味でも、図書館の役割が大きくなっています。

大学の学問がまずは各専門分野の先端的な研究に導かれ、それが

学部や大学院の充実した教育に支えられているものである点で、附属図書館の役割がこのような研究・教育の支援にあることは、以前と変わらず重要な、図書館の基盤的活動です。さらに、この点では、近年、専門分野の区別を超える様々な学問的協働によって新たな視座を開拓することにも、各分野の書籍や資料を保存している図書館が果たす役割には重要なものがあるでしょう。それに加えて、上述のように、図書館にはさらに社会のニーズに応えるために、関係機関や組織との連携を深め、一般市民の知的好奇心を喚起し、また満ち、そしてイノベーションにも資するという役割も期待されるようになっていきます。

これら新旧相混じり合った多角的な役割・機能を担ってゆくためには、図書館における業務や活動がいつそう多面的に展開されるだけでなく、それらの諸活動が図書館のアイデンティティの不断の革新のための要素として有機的に結合されてゆくことが肝要と思われます。そしてそのためにこそ、ここに公開する年報のような活動記録を残してゆくことが改めて重要な意味を持つことになるでしょう。

以上のような意義の一方で、2020年の初頭から始まった周知の新型コロナウイルスの世界規模の感染拡大によって、私たちの生活様式は大きな変革を迫られ、大学もまた図書館もその例外ではなくなりました。従来の当然の常識に代わって、非接触型の人間とコミュニケーションの関係を新たに構築しなければならなくなり、大学での研究教育もまた図書館の有り様が極めてリアルな形で大きな変革を迫られつつあります。

そのような状況の中で、本年報は、基本的には昨年度における附属図書館の活動を報告するものであり、まずは附属図書館が従前どのような活動を行ってきたかを



附属図書館長

長谷川 晃

理解いただき、また振り返るための資料となるものではないものの、上記の大きな社会変化／新たな状況の中で今後図書館はどのような方向へと進むべきなのかを真摯に問うための基礎となるでしょう。以前から記してきたように、本年報のようなまとめの意義は、図書館の新たな活動に向けて一歩を踏み出すための現段階でのマッピングとそれによる熟思によって、新たな年の活動の手がかりとすることにありますが、まさに現実にとりて具体的にそのことが試されることとなっています。

附属図書館職員の方々の自己点検・自己研鑽、そして熟思はもとより、関係各位におかれましても、いっそうのご理解・ご教示、そしてご支援を衷心からお願い申し上げます。

平成 31（令和元）年度 Topics

1 教育学習支援

A 学習支援

(1) アカデミックスキルセミナー

本学の進路・修学の相談対応や学生の主体的な学習を支援するラーニングサポート室と協働・企画運営し、学習・研究スキルに関するセミナーの開催や事業に協力した。

スタディ・スキルセミナー

大学での学修の基本となる「スタディ・スキル」を身につけるためのセミナーを春と秋に開催した。対象は主に学部学生1、2年次で「論説型レポート入門」「実験レポートの書き方」や「文献の探し方」等をテーマに32回開催し、計400名が参加した。図書館職員が講師を担当したのは「文献の探し方」と「情報資源と活用法」で、「文献の探し方」は全学教育科目で初年次学生を対象に実施している図書館情報入門を30分に短縮した内容となっている。



2019年度 前期アカデミックスキルセミナー

スタディ・スキルセミナー

■テーマ(各テーマとも同じ内容で複数回開催します)

進路選択の基礎知識 進路選択の心得や学部学科選択に必要な情報収集方法について解説します。さらに、移行制度に基づいた時間割作成の例を紹介します。

論説型レポート入門 課題に即して文献・資料を読み、文章を作成するタイプのレポートの書き方を解説します。

実験レポートの書き方 主に自然科学実験のレポートについて、書き方の基本とポイントを解説します。

講師：ラーニングサポート室スタッフ

文献の探し方 レポート作成に必須の、北大における本・論文の探し方をレクチャーします。

※一般教育演習内で実施している「図書館情報入門」と同内容です。詳細は最下部URL先をご確認ください。

講師：図書館スタッフ

開催場所

北図書館西棟2階・セミナールーム

予約不要
直接お越しください

日程

	月	火	水	木	金
	4/15	16	17	18	19
昼	進路	文献	実験	進路	論説
夕	実験	進路	論説	文献	進路
	22	23	24	昼12:10-12:50 夕18:10-18:50	
昼	文献	実験	論説		
夕	論説	文献	実験		

問い合わせ先：ラーニングサポート室
高等教育推進機構 E210(オフィス)/E211(学習サポート室)
電話 011-706-7525 メール iso@high.hokudai.ac.jp

アカデミックスキルセミナーについて詳しくは下記URLまたは上の二次元バーコードにアクセスしてください
<https://www.lib.hokudai.ac.jp/?p=62603>

ポスター

(2) めざせ100万語！英語多読マラソン

1) スタートアップガイダンス

英語多読マラソンの今年度の新規参加者は362名、累計参加者は1,820名となった。

「スタートアップガイダンス」が4月22日（月）及び25日（木）、高等教育推進機構畑中貴美特任講師の協力のもと、北図書館グローバルフロアにて開催された。2日間で計20名が参加した。ガイダンスでは畑中先生から初心者向けの多読の進め方やコツの紹介があり、また先輩が体験談を話すコーナーでは、多読マラソンをしていて良かったことやおすすめの図書の紹介があった。



スタートアップガイダンスの様子

2) 貸出上限冊数の変更

館外貸出に関する規程が平成31年4月1日（月）に変更され、多読資料のみで8冊まで（一般市民は2冊まで）借りられるようになった。変更前は多読資料の貸出は開架図書の上限8冊に含まれていた。規程の変更により利用が促進され、北図書館・水産学部図書室ではここ4年間で最も多くの貸出となった。

多読資料貸出冊数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
本館	3,630	4,189	2,944	2,226
北図書館	10,810	14,478	8,924	16,009
水産学部	117	147	58	244

(3)「ようこそ北大へ！～新生活を彩る、役に立つ、やる気がでる！おすすめ本～」展示

3月27日（水）～6月3日（月）、北図書館で新入生向けに「ようこそ北大へ！～新生活を彩る、役に立つ、やる気がでる！おすすめ本～」展示を行った。北海道大学生活協同組合書籍部と連携して実施したもので、同じタイトルの本が北大生協では購入でき、北図書館では借りることができるよう、同時期に開催した。アカデミックスキル（レポート・論文の書き方、プレゼンのしかた等）、ライフスキル&コミュニケーション、新生活応援、北海道関連といった、新入生の北海道での新生活のスタートを応援する図書をそれぞれの会場で展開した他、北大生協及び北図書館の広報ポスターやチラシ等も一緒に展示した。

期間中、展示した259冊中249冊が貸し出され、貸出回数は延べ810回となった。



展示の様子

(4)「本は脳を育てる」図書展示

「本は脳を育てる」企画は、本学の教職員が学生、特に新入生に読んでほしい図書を推薦文と共に Web サイトで紹介するもので、学生の知的基盤の育成の支援を目的として平成17年から実施している。

その図書展示を12月12日（木）～1月22日（水）に

北図書館で開催した。「本は脳を育てる」の Web サイトで公開中の523点の資料のうち、新着図書を中心に学生の思考の土台となる教養・リベラルアーツの醸成に役立つような資料81点を推薦文と共に展示した。61点が延べ133回貸し出され、展示スペースではコメントに見入りながら本を選ぶ学生の姿が見られた。

また、最近推薦された30冊について、書誌情報と推薦コメントを冊子にして配布したところ、設置した分がすべて持ち帰られた。



展示の様子

(5)【物理・数学・統計学・化学】入門図書展示



展示の様子

7月1日（月）～8月19日（月）、北図書館で「【物理・数学・統計学・化学】入門図書展示」を行った。これは、高等教育推進機構ラーニングサポート部門と連携して実施したもので、同部門スタッフが推薦する学生の学習に役立つ入門図書を、紹介者のオススメコメントと共に展示した。併せて、ラーニングサポート室が作成した学習ガイド「物理のコツ」「統計学のススメ」と図書館職員が作成した「新入生のためのレポート書き方ガイド」を配布した。

期間中、展示した35冊中25冊が貸し出され、貸出回数は延べ55回となった。

（6）ラッピングブックフェア展示



展示の様子

1月20日（月）～2月7日（金）、北図書館でラッピングブックフェア展示を行った。この企画は図書の題名等がわからないように古新聞で梱包し、内容に関するコメントをつけて展示するもので、未知の図書との出会いを目的として平成29年度から実施している。12月16日（月）～12月26日（木）に推薦図書とコメントを募集したところ、44冊の推薦があった。期間中、展示した44冊中34冊が貸し出された。アンケートを実施したところ「自分で本を選んでいるだけだと、こういった本には絶対に巡り会えなかったのも、とても新鮮だった。」「抜粋された文から内容を予測する楽しさと、なかなか広がりにくい自分の興味の範囲を広げてくれる大変有意義なイベントだった。」などの回答があり、大変好評であった。

（7）「全国読書マラソン・コメント大賞」連携図書展示

北大生協も加盟する全国大学生活協同組合連合会では、大学生を対象に読書の感想を募る全国読書マラソン・コメ

ント大賞を開催している。そこで、学生の夏季休暇の時期に、学生が多様な図書に触れる機会を設け、読書習慣の普及に貢献することを目的として7月16日（火）～9月26日（木）に本館と北図書館で連携して図書展示を行った。

歴代（平成17年～平成30年）の受賞作のうち図書館に所蔵があるものを本館で29冊、北図書館で132冊展示した。本館では27冊が延べ64回貸し出され、北図書館では113冊が延べ188回貸し出された。同時に全国読書マラソン・コメント大賞の応募箱も設置したところ、4件の応募が寄せられた。



展示の様子

B 情報リテラシー教育

（1）図書館情報入門

「図書館情報入門」は、初年次学生を対象にレポートや論文作成に必要な学術文献の効率的な検索方法の習得を目的に実施している。全学教育科目の「一般教育演習（フレッシュマンセミナー）」及び「主題別科目（論文指導）」の授業内で希望する教員の1コマ（90分）を利用して44回実施し、計663名が受講した。実施後のアンケートでは、

98%の学生が「満足」「どちらかといえば満足」と回答している。少人数クラスである利点を活かし、授業にあった検索例題の設定や教員の要望によるカスタマイズを行い、授業と関連した内容とすることで、より理解が深まるよう工夫している。

（2）文献収集セミナー

1) これから研究を始める人のための文献の収集と管理のセミナー【文献収集セミナー 文系編】

これから卒業論文や修士論文執筆に取りかかる文系の学部学生3年次から修士1年次を主な対象として、網羅的かつ効率的な文献収集スキルの向上を目的に開催した。国内文献を中心とした基本的な検索や入手方法（基礎編）、海外文献を中心とした効率的な文献検索及び管理方法（応用編）の内容で、春と秋合わせて8回実施し、計150名が参加した。

2) 基礎からおさえる！法情報の探し方

【文献収集セミナー 法学編】

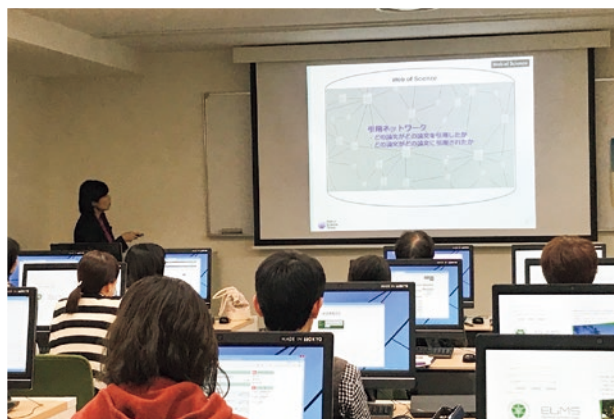
法学研究科法学政治学資料センターと連携し、図書館と法学政治学資料センターで所蔵している法学関連の図書や雑誌の網羅的な探し方や法学情報収集の基礎を身につけることを目的として開催した。春と秋合わせて5回実施し、計72名が参加した。特に秋の回は留学生の参加が多く好評を博した。

（3）国際機関情報の探し方セミナー

国連寄託図書館・EU情報センターとして国際情報の入手方法についてわかりやすく解説し、グローバルな課題に対する情報収集スキルを高めることを目的として開催した。11月1日（金）に「国連編・EU編」、11月8日（金）に「統計編（OECD編）」を開催し、計9名が参加した。

（4）各種データベース講習会

研究や学習、就職活動等に幅広く役立ててもらうことを目的として、本学が契約する学術文献データベースや文献管理ソフトの利用講習会を専門の外部インストラクターとの協働により開催した。「EBSCOhost」「Web of Science」「日経テレコン」「Mendeley」等に加え、「SciFinder」「Reaxys」「eol」等、分野に特化したデータベース等も含め、本館や北図書館会場の他、部局での実施も合わせて46回開催し、計612名が参加した。



Web of Science 講習会の様子

（5）オーダーメイド講習会

教員からの依頼による「オーダーメイド講習会」は、個別の授業やゼミへの支援を目的とするオリジナル型の講習会で、教員と図書館職員とで内容を相談しながら実施している。部局図書室との連携・協力により、分野に特化した内容の講習会も増えている。文献管理ツールの使い方を中心に重点をおくケースや書庫ガイダンスを実施する等、単なる文献の収集方法に留まらない多様な形態で32回実施し、計584名が受講した。

C グローバル人材育成

（1）「第4回北海道大学フィンランドディ」関連資料展示



展示の様子

6月3日（月）～7月12日（金）、本学欧州ヘルシンキオフィスが主催するイベント「第4回北海道大学フィンランドディ：みんなで夏至祭を楽しもう！」との連動

企画として、関連資料展示を北図書館で開催した。イベント講師陣等の協力により、フィンランドにまつわる資料 142 点を紹介者のコメントと共に展示し、62 点が延べ 98 回貸し出された。

（2）～留学・旅行応援～グローバル図書展示

1 月 28 日（火）～3 月 19 日（木）、グローバルな視点を得るために留学や旅行に行くことを応援する「～留学・旅行応援～グローバル図書展示」を北図書館で行った。TOEFL や IELTS など語学学習のための図書、英語で書かれた基礎的洋書、英語論文の書き方・英語プレゼンのしかたに関する図書、トラベルガイド、留学体験記、日本に関する図書を 87 冊展示し、71 冊が延べ 147 回貸し出された。



展示の様子

D | 学生と協働した図書館づくり

（1）「TEDxHokkaidoU」応援資料展示



TEDxHokkaidoU メンバー

11 月 1 日（金）～12 月 2 日（月）、学生団体「TEDxHokkaidoU」が主催するイベントにあわせ、同団体と協働した展示を北図書館で開催した。TED やプレゼンテーションスキル、グローバルイシューに関する資料を、学生のおすすめコメントと共に展示した。

期間中、展示図書 68 冊中 63 冊が貸し出され、貸出回数は延べ 131 回となった。

（2）「トビタテ！留学 JAPAN」応援資料展示



展示の様子

12 月 2 日（月）～3 月 19 日（木）、「トビタテ！留学 JAPAN」に参加した学生と協働した展示を北図書館で開催した。留学経験者の留学するきっかけになった資料や留学中役立った資料を、学生のおすすめコメントと共に展示した。

期間中、展示した 14 冊すべての図書が貸し出され、貸出回数は延べ 39 回となった。

（3）「humal」シンポジウム応援展示

7 月 11 日（木）～8 月 14 日（水）、学生団体「humal」が主催したシンポジウムと連動して、同団体と協働した展示を北図書館で開催した。同団体は「野生動物とヒトとの共存を考える」という標語の下、野生動物問題を啓発し考

えていくことを目的としている団体であり、野生動物問題に関する資料を、学生のおすすめコメントと共に展示した。

期間中、展示した 33 冊中 32 冊が貸し出され、貸出回数は延べ 165 回となった。



humal メンバー

E 学内ワークスタディ

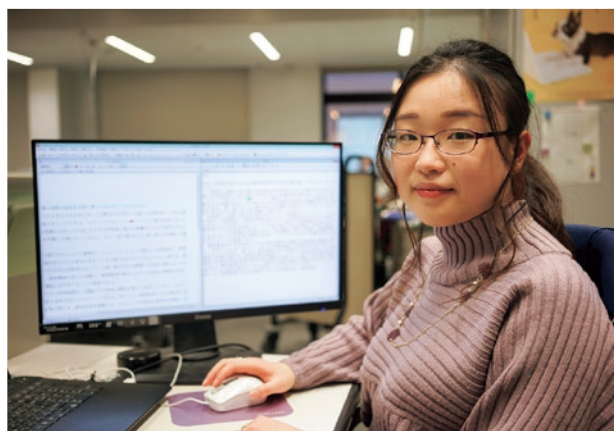
ワークスタディとして学生 40 名（本館 16 名、北図書館 24 名、いずれも実人数）を雇用した。

定期試験期間等、利用者が増加し混雑する時期を中心に配架作業など定常業務の一部を担当させた。これにより、職員が利用者対応等の業務を重点的に行うことができ、図書館の円滑な運営に寄与した。

そのほか、長期休業期間中には短期間に集中して学生を雇用し、漢籍や新聞原紙など、特殊な資料の蔵書点検等を進めることができた。

F 障がいのある学生への支援

「プリント・ディスプレイのある利用者のための資料電子化サービス」が、本格実施へと移行して 4 年目となった。これは印刷された図書や論文を読むことが困難な利用者のために図書館の資料を電子化するサービスである。登録利用者の学部学生 1 名からの依頼（75 件）に対して、ピアサポーター（支援学生）7 名が主体となり、57 件の資料を電子化し提供した。



電子化データ作成の様子

このほか、本学学生相談総合センター（アクセシビリティ支援室）及び学生所属学部と連携し、障がいのある学生に対しての修学上必要とする配慮について、支援策などの検討・確認を 2 回行った。

また、全学教育科目「健康と社会」（講義題目：キャンパス・アクセシビリティ入門）において、電子化の法的な知識についての講義と実習を 2 名の職員が担当した。同時に「カラーユニバーサルデザイン」についても講義を行った。本講義はピアサポーターの養成を目的とした授業としてアクセシビリティ支援室と連携して開講している。

今後も国立国会図書館が主導する電子化データの全国共同利用体制への参加を含め、他大学・他機関と情報交換及び情報共有をして問題解決を図り、よりよいサービスの提供を目指す。

2 研究支援

A 研究者向け講習会の実施

(1) IOP 英語論文執筆セミナー

9月19日（木）、IOP Publishing の Simon Buckmaster 氏を講師とし、情報科学研究院を会場に実施した。主に、初めて学術論文を英文雑誌に投稿しようとする理工学分野の学生や研究者を対象として英語で実施したもので、参加者65名のうち半数以上が外国籍の方であった。アンケートによる評価は、5段階評価で4以上が約85%であった。



セミナーの様子

(2) Writing for Academic Journals

12月17日（火）、英文校正会社から講師を招き、フロンティア応用科学研究棟を会場に実施した。主に外国籍の大学院生を対象に、英語論文の執筆・投稿に係るポイント等を英語で講義したもので、約80名の参加があった。本セミナーは人材育成本部(I-Hop)が企画・主催し、附属図書館は広報や当日の運営に協力した。

(3) Open Access Week セミナー「オープンサイエンス事始め: Zotero や figshare を使いこなす」

10月28日（月）、メディア・コミュニケーション研究院 Michael Schiltz 准教授を講師とし、北図書館西棟2階セミナールームを会場に実施した。オープンアクセスウィーク（10月21日（月）～27日（日））に合わせて企画したもので、オープンソースの文献管理ソフト Zotero、研究データ公開プラットフォーム figshare の使用法と利点、オープンアクセス文献を発見するためのツール（ブラウザ拡張機能など）について英語で紹介し

た。25名の参加があり、アンケートによる評価は、5段階評価で4以上が約82%であった。



ポスター



セミナーの様子

(4) 英語論文の書き方セミナー（基礎編）

昨年度に引き続き、本学の国際化及び教育改革に対する取り組みへの支援（「スーパーグローバル大学創成支援事業」）を受け、2月14日（金）に英語論文執筆の基礎を学ぶセミナーを工学部フロンティア応用科学研究棟にて開催した。学生を主な対象として、英語論文の構成から各項目の書き方、日本人英語の欠点や改善策（脱日本的発想）等について、英語論文の添削や学術論文指導

の3テーマで実施し、計45名が参加した。アンケートによるセミナー全体の満足度は「とても満足」「満足」を合わせて9割を超えた。

英語論文の書き方

セミナー

(基礎編)

2020年

2/14

10:30 ~ 16:15

※お昼休み、休憩は15分です

会場：工学部フロンティア応用科学研究棟1階 セミナー室1

セミナー概要

ネイティブスピーカーに针对される論文執筆のポイントや日本人専攻の欠点や改善策（特に日本語問題）を英語論文の添削および学術論文指導、執筆過程や研究費と講師が日本語で分かりやすく解説します。

プログラム（※内容が変更可能）

第1講義：	論文英語報告（英文がよい）：道倉と対席
	・ 文法でとりあつかない問題点（Laggar's Times） ・ 日本人英語が通じない用語と対席（日本人英語の特性） ・ 英語論文の添削歴の書き方（道倉）と道倉
第2講義：	英語論文の特性と英語論文執筆の技術
	・ 英語論文の執筆 ・ 英語論文執筆の原則
第3講義：	英語論文の作文技術と文法事項
	・ 単語と英語論文を書くテクニック（文法事項） ・ 英文文法が通じない用語と対席（日本人英語の特性） ・ 参考文献、引用、英文文法と英語論文（道倉）と道倉

※ 10時30分からなく、文法の70分にもつづけて下さい

講師

小野越 正氏

生物学研究所 創発物質科学研究中心 専任 客員研究員 理学博士

1977年東京大学理学部化学系卒業、理学修士

1984年4月より理学部創発物質科学研究中心 専任 客員研究員

専攻は、物理・地球化学（Scientific English）、物理、電子デバイス

「ドイツ大学博士号取得後の研究の方向性」、「ドイツ大学博士号取得後の研究の方向性」

「ドイツ大学博士号取得後の研究の方向性」

対象

対象

定員

申込

本学学生、学術研究員、教職員

100名（要事前申込）

参加に必要の下方2URLまたはQRコードよりお申込ください

<https://www.lib.hokudai.ac.jp/?p=74040>

お問い合わせ

附属図書館利用支援課 学芸支援企画担当

011-706-5593 nref@lib.hokudai.ac.jp

ポスター



英語論文の書き方セミナー（基礎編）の様子



セミナーの様子（歯学部）

10月25日(金)、10月31日(木)～11月1日(金)、北キャンパス図書室を会場に計3回実施した。オープンアクセスウィークに合わせて企画したもので、オープンアクセスの概要説明、オープンアクセス論文を探すツールの紹介、ハゲタカジャーナルの説明を日本語と英語で行い、計5名が参加した。



セミナーの様子

1) これからの学術情報収集・発信・評価：医系研究者が知っておきたいポイント（医系グループ）

3) Library E-Resource Guidance in English (北キャンパスグループ)

11月12日（火）、19日（火）、21日（木）、北キャンパスグループの各部局（獣医、低温研、北キャンパス）を会場に計3回実施した。留学生向けに英語で行ったもので、「OPAC 及び電子ジャーナルの検索・利用方法」「Web of Science での論文検索及び EndNote basic への

検索結果取り込み」「リモートアクセスサービス」などの説明を行い、計 9 名が参加した。アンケートによる満足度は、参加者全員が「Very satisfied」もしくは「Satisfied」と回答した。

Library E-Resource Guidance for International Students !

You can learn about

- How to search for Books/Journals in Hokkaido Univ.
- How to search for Articles by Database: Web of Science
- Introduction of EndNote basic, the reference manager and, our Library Services!

All you need to do is just come !
(All of them have the same contents)

Date	Time	Venue
Nov. 12th TUE	13:30-14:00	Northern Campus Library → A on Venue Map
Nov. 19th TUE	13:30-14:00	Inst. Low Tem. Sci. Meeting Room → B on Venue Map
Nov. 21st THU	15:00-15:30	Veterinary Department The 2nd Lecture Room → C on Venue Map

If you have any questions, please e-mail us:
north-g@lib.hokudai.ac.jp

Venue Map

Sapporo Campus

ポスター

B 部局等 FD への講師派遣

(1) メディア・コミュニケーション研究院／国際メディア・観光学院 FD 研修

2月21日(金)、「メディア・コミュニケーション研究院／国際メディア・観光学院 FD 研修」にて、図書館職員が講師をつとめた。

「雑誌掲載論文の著作権」というテーマで、著作権契約の確認方法や事例紹介、雑誌論文を博士論文としてインターネット公表する際の注意点等を中心に説明を行い、教員 48 名が参加した。

質疑応答の際には、参加者から多くの質問が寄せられ、著作権や図書館の取り組みについて知ってもらう貴重な機会となった。

(2) 地球環境科学研究院 FD 研修

3月5日(木)、地球環境科学研究院で開催された FD

研修において、電子ジャーナルの最新動向に関する講義を図書館職員が行った。教員約 40 名が参加した。

質疑応答の際には、参加者から多くの質問が寄せられ、図書館委員会委員以外の教員の意見を聞く貴重な機会となった。

C 文献検索相談・代行サービス

「文献検索相談・代行サービス」は、本学の医系研究者を対象に、研究テーマに応じた先行研究等の調査を図書館職員が代行するサービスで、平成 28 年 7 月から実施している。

検索テーマやキーワード等を研究者と相談の上、国内外のデータベースから文献調査を行う他、データベースの利用方法、文献管理や入手方法のアドバイスにも対応する。これまで特に診療ガイドラインやシステマティックレビュー作成のための網羅的な文献調査を必要とする研究者から依頼を受け、支援を行ってきた。

今年度は、教員から依頼された診療ガイドライン作成のための文献検索代行を 1 件、大学院生からの依頼による修士・博士論文執筆のための文献検索相談を 4 件実施した。また、過年度に文献検索を代行し図書館職員が共著者となったシステマティックレビュー論文¹が 8 月に『Pediatric surgery international』に掲載された他、12 月には別の共著論文が『Journal of Clinical Psychiatry』にアクセプトされた。

7月12日(金)、札幌医科大学で行われた「第 15 回学術情報ソリューションセミナー」において、本学のシステマティックレビュー作成支援の取組みを報告した²。(26 ページ「学外講師派遣等」参照)

1. Yokoyama, S. *et al.* Evaluation methods and impact of simulation-based training in pediatric surgery: a systematic review. *Pediatr. Surg. Int.* **35**, 1085-1094 (2019).
2. 川村 路代. 北海道大学における システマティックレビュー支援 始まりとその先. (2019). Available at: <http://hdl.handle.net/2115/76425>. (Accessed: 13th March 2020)

北海道大学における システムティックレビュー支援 始まりとその先

川村 路代
Michiko Kawamura

北海道大学附属図書館 研究支援課 医系グループ
ヘルスサイエンス情報専門員(基礎)
✉ mkawamura@lib.hokudai.ac.jp

2019/07/12 第15回 学術情報ソリューションセミナー2019 in SAPPORO

学術情報ソリューションセミナー発表資料（HUSCAP 公開中）

D | 学術研究コンテンツ整備

（1）令和 2 年度学術研究コンテンツの整備

電子ジャーナル及びデータベースの毎年の原価の値上げや為替の影響等により、学術研究コンテンツ整備にかかる経費の増大に歯止めがかからない状況である。

本学では、2017 年度分選定より特定経費（全学で使用する電子ジャーナル及びデータベースのために配分されている経費）の上限が設定された。

2020 年度特定経費による学術研究コンテンツの選定では、費用対効果が良好でない等の中止基準に該当するコンテンツについて、電子ジャーナル個別契約 65 点の購入を中止した。また、購読タイトルとの入替えにより新規購読希望のあった電子ジャーナル個別契約 1 タイトルを新規購読した。

（2）バックファイルの整備

電子ジャーナルのバックファイルを導入することにより、研究者は、現在の研究成果だけではなく過去の研究成果にもアクセスすることが可能となる。教育研究活動の活性化が期待できることから、本学では、電子ジャーナルのバックファイル整備計画に基づき整備を進めている。

2019 年度の特定期間による選定では、Wiley 社のバックファイル 7 タイトルを買取方式で導入した（使用可能年は各タイトルにより異なる）。

また、2018 年度に導入した Wiley 社 UBCM モデル（一定額を前払いすることにより、同社のバックファイル全タイトルが 1 年間利用可能となり、1 年経過後には前払

い額相当のバックファイルタイトルが買取可能となるモデル）を継続した。

E | 学術成果刊行助成

本学では、学術的価値が高くかつ独創的な著作物の刊行を促進し、学術研究成果の社会への還元及び学術の国際交流の推進に資することを目的として、平成 20 年 5 月に「学術成果刊行助成」を創設した。助成の対象は図書及び文系欧文誌の刊行である。

図書については 2 件の申請があり、そのうち 1 件を採択した。

・転向者・小川未明／増井 真琴

また、欧文誌については、文系 8 部局を対象に募集を行い、以下の 3 誌を採択した。

- ・“Eurasia Border Review”（スラブ・ユーラシア研究センター）
- ・“Journal of Applied Ethics and Philosophy”（文学研究科）
- ・“Journal of the Faculty of Humanities and Human Sciences”（文学研究科）

前年度採択した図書 2 点については、製作進行上の都合等により、令和 2 年度発行予定となった。

この事業により、令和元年度までに図書を 17 冊、欧文誌を 4 誌刊行している。刊行した著作は本館の教員著作物コーナー及び北図書館で利用可能である。また、欧文誌については HUSCAP に掲載し国内外へ発信している。

F | 北海道大学学術成果コレクション (HUSCAP)

（1）「北海道大学オープンアクセス方針」の策定と運用要項、資料提供・公開細則の改定

本学では、平成 19 年 11 月に総長裁定にて「北海道大学学術成果コレクション運営方針（以下「運営方針」）」を定め、その中で「研究成果の公開を強く奨励する」と謳い、これを本学のオープンアクセス方針として運用し

てきた。しかしながら、近年のオープンアクセスジャーナルの拡大や外部機関による分野別のリポジトリの整備等に伴い、オープンアクセスの実現方法も多様化しており、その動きに対応する必要が出てきていた。また、「運営方針」は「HUSCAP の運営方針」としての側面の方が強いことから、これに代わる「大学全体としてのオープンアクセス方針」の策定が必要となっていた。これらに対応して、大学全体としてのオープンアクセス方針として位置づけした「北海道大学オープンアクセス方針」を新たに策定し、令和元年 6 月 25 日役員会においてこれを決定、同日より施行した。「北海道大学オープンアクセス方針」では、研究成果の公開を「原則公開」としている。

また、「北海道大学オープンアクセス方針」の策定に伴い、「北海道大学学術成果コレクション運用要項」「北海道大学学術成果コレクション資料提供・公開細則」についても対応する改訂を行った。

(2) JPCOAR スキーマ対応

HUSCAP は、登録論文のメタデータを学術機関リポジトリデータベース（IRDB）に提供しており、IRDB を通じて CiNII Articles、国立国会図書館等の各サービスと連携している。

平成 29 年 7 月に IRDB へのメタデータ提供フォーマットに JPCOAR スキーマが新たに追加された。JPCOAR スキーマでのメタデータ提供に対応することで、より詳細なメタデータの提供と連携先システムでの活用が期待される。平成 30 年度より HUSCAP の JPCOAR スキーマでのメタデータ提供への対応の検討を開始していたが、令和元年 12 月にシステムへの実装を完了し、JPCOAR スキーマによる IRDB へのデータ提供を開始した。

G

オープンサイエンス・研究データ関係事業

国内外のオープンサイエンス・研究データ管理の動きを受けて、昨年度に引き続き、当館では研究支援課を中心にいくつかの取組を行っている。

(1) GakuNin RDM の実証実験開始

5 月から本学情報基盤センターと協力して、GakuNin RDM の実証実験を開始した。GakuNin RDM とは、国

立情報学研究所（NII）が開発中の研究者が研究プロジェクト単位で研究データを管理できるツールで、研究データ公開サービス（新 JAIRO Cloud）との連携も予定している。実証実験にあたっては、附属図書館研究開発室員である情報基盤センターの平林准教授の他、同センター長の棟朝教授、同センターの杉木准教授のご協力をいただき、7 月の図書館委員会に報告している。

(2) 学認 LMS による RDM オンライン講座試験運用

NII とオープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）研究データ作業部会による「学認 LMS による研究データ管理に関するオンライン講座試験運用」に対し、当館は参加を表明し、9 月には説明会が開催され、10 月～12 月に試験運用を実施した。

12 月に開催された報告会では、オンライン講座の内容、学認 LMS の機能や使い勝手、研究データ管理に関する各大学の取り組みについて情報交換が行われた。

(3) オーストラリアの大学図書館の先行事例調査

9 月には、オーストラリアの大学図書館における研究データ管理支援サービスを調査するために、当館から 2 名の職員を派遣した。うち 1 名は国立大学図書館協会海外派遣事業の支援を受けている。

シドニー大学図書館、ニューサウスウェールズ大学図書館、メルボルン大学図書館、モナシュ大学図書館の 4 つの大学を訪問し、担当者にインタビュー調査を行い、その成果は『大学図書館研究』¹と『情報の科学と技術』²で公表している。

(4) NII 実務研修

10 月から 12 月の 3 ヶ月間、NII 実務研修として NII オープンサイエンス基盤研究センターに当館職員を 1 名派遣した。研修のテーマは、「研究データ管理から研究データの公開を行うためのワークフローを検討・作成」として、研究データ公開のフローチャートを作成し、JPCOAR スキーマをベースにメタデータ要素を整理した³。

また、研修期間中には、10 月にヘルシンキで開催された RDA's 14th Plenary、11 月に横浜で開催された図書館総合展、金沢開催の情報知識学フォーラム、12 月に福岡で開催された大学 ICT 推進協議会（AXIES）年次大会に参加した。

（5）NII 実務研修（海外派遣）

2月15日（土）から1カ月間、NII 実務研修として欧州原子核研究機構（CERN）に当館職員1名を派遣した。INSPIRE のデータキュレーションを日本から行うプロセス及びシステムについて INSPIRE Team と共に検討を行い、新たなワークフローを提案した⁴。

また、オープン・サイエンスの情報収集のため2会議に出席し（International Digital Curation Conference 2020、Open Science Conference 2020）、2機関へ訪問調査を実施した（ETH Zürich Library、Max Planck Digital Library）。

（6）オープンサイエンスに関するセミナー開催

10月28日（月）、オープンアクセスウィーク関連企画として、本学メディア・コミュニケーション研究院 Michael Schiltz 准教授を迎えて「オープンサイエンス事始め：Zotero や Figshare を使いこなす」を開催し、25名の参加があった。（関連記事 9ページ）

（7）研究データ管理に関するアンケートの実施

11月には、本学の研究者に対し、本学情報基盤センターと共同で「北海道大学における研究データ管理に関するアンケート」を実施した。大学 ICT 推進協議会研究データマネジメント部会（AXIES-RDM 部会）が作成した雛形を利用し、2週間と限られた期間ではあったが、269名の方に回答いただいた。アンケートの結果については、12月の AXIES 年次大会で報告し、その報告資料は HUSCAP で公開している⁵。また、翌年3月にオンラインで開催された情報処理学会 IOT 研究会では、AXIES-RDM 部会主査である京都大学の青木准教授から、本学ほかの5大学で実施されたアンケート結果を比較した成果⁶が報告されている。

なお、本学のアンケートでは、任意記名に96名の研究者が応じていただいております、来年度予定の研究者インタビュー調査に繋げていく予定である。

（8）RDM 事例形成プロジェクト

来年度から AXIES-RDM 部会と JPCOAR 研究データ作業部会により本格的に実施される RDM 事例形成プロジェクトに対しては、図書館として11月に関心表明を行っており、来年度から RDM 事例形成に協力してい

く予定である。

（9）HUSCAP の JPCOAR スキーマ対応

本学機関リポジトリ HUSCAP の研究データ対応については、昨年度から準備を始めていた JPCOAR スキーマへの対応が12月に完了し、研究データに対応したメタデータを付与できるようになっている。（関連記事 13ページ）

1. 佐藤 亜紀. オーストラリアの大学図書館における研究データ管理支援サービスの先行事例報告. 大学図書館研究 114、1-7、(2020). Available at: <https://doi.org/10.20722/jcul.2057>. (Accessed: 27th March 2020)
2. 児玉 陽子. シドニー大学における研究データ管理～担当者へのヒアリングから. 情報の科学と技術 70 (8)、432-435、(2020) Available at: https://doi.org/10.18919/jkg.70.8_432
3. 三上 絢子. 令和元年度国立情報学研究所実務研修. (2020). Available at: <http://hdl.handle.net/2115/76791>. (Accessed: 27th March 2020)
4. 前田 隼. 令和元年度国立情報学研究所実務研修(2020). Available at: <https://hrd.nii.ac.jp/jitsumu/2019/result-0> (Accessed 11th August 2020)
5. 結城 憲司. 北海道大学における研究データ管理に関するアンケート実施報告. (2019). Available at: <http://hdl.handle.net/2115/76314>. (Accessed: 27th March 2020)
6. 青木 学聡、船守 美穂、松原 茂樹、結城 憲司、宮本 貴朗、西村 浩二. 研究データマネジメントに関する研究者アンケートの設計と実施. 情報処理学会研究報告 2020-IOT-48 (14)、1-7、(2020).

H 遡及入力事業の完了

遡及入力事業は、図書業務の電算化（昭和61年）以前に受入した資料について、遡って蔵書目録データベース化する事業であり、昭和62年に第1期を開始した。

令和元年度（第7期第4年度）の入力・作業冊数は、以下のとおりである。

- (1) 資産受入済みであるが蔵書目録データベースに未入力であった図書・製本雑誌 1,820 冊
- (2) 蔵書目録データベースに入力希望図書 7,970 冊

3 社会貢献と国際化

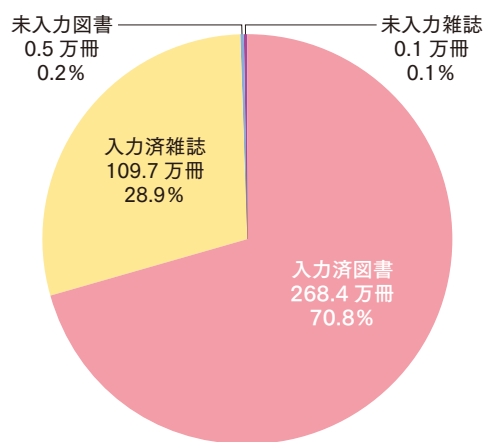
A 北方資料公開

(3) 書誌・所蔵データの品質向上 1,076 冊
合計 10,866 冊である。

実施した主な部局は、本館、北図書館、文学研究院、経済学研究院、農学研究院、低温科学研究所となっている。

全蔵書約 379 万冊のうち 99.7%が入力済となり、残りの資料は研究室等からの返却を待って随時作業することとなるため、遡及入力事業としての実施は令和元年度で終了とした。

蔵書 379 万冊の入力状況



(1) 北方資料企画展示

資料コレクション部会が研究開発室員谷本晃久教授（文学研究院）の協力を得て企画し、本館玄関ロビーにおいて展示を行った。

「カラフトナヨロ惣乙名文書（ヤエンコロアイヌ文書）」展

本館玄関ロビー

令和 2 年 2 月 17 日（月）～ 5 月 10 日（日）

7 月 23 日（火）、当館が所蔵する「カラフトナヨロ惣乙名文書（ヤエンコロアイヌ文書）」が国の重要文化財に指定された。

この文書はカラフト西岸ナヨロの惣乙名（複数村落の統括者）をつとめたアイヌの氏族長の家に保管、伝来した文書群である。清朝関係文書 4 通と日本側作成文書 9 通の計 13 通で構成され、現在は 2 巻に軸装されている。

18 世紀から 19 世紀にかけてのカラフトアイヌと中国、日本との関わりを伝える極めて稀有なものであり、当該期のいわゆる北方世界の歴史研究上、学術的価値が高いと評価された。

重要文化財指定を記念し、この文書や関連する資料についての紹介をするパネルを作成、展示を行った。



展示の様子

(2) 北方資料掲載申請

全国からの依頼によるテレビ放映や図書等への写真掲載等の許可件数は 209 件あり、資料点数としては 674 点であった。内訳は以下の通り。

- ・放映許可件数：41 件 資料数：126 点
- ・掲載許可件数：168 件 資料数：550 点

利用の多かった資料は以下の通り。

資料名（請求記号）	許可件数
1 開拓使札幌本庁落成記念（A（a）2）	8
2 琴似屯田兵村 1～5（A（b）216～220）	7
3 開拓使東京第3号園留学アイヌ人 1・2（P（a）149・50）	6

もっとも利用が多かった資料は「開拓使札幌本庁落成記念」だった。開拓使の札幌本庁舎として建てられた威風堂々とした「赤レンガ庁舎」で、北海道の開拓や開拓使を象徴する写真として展示やテレビ番組などで使用された。



開拓使札幌本庁舎落成記念（明治6年）

次に利用されたのは「琴似屯田兵村」という5枚続きの屯田兵舎群を映した写真だった。琴似や屯田兵の歴史を紹介する書籍や新聞記事、テレビ番組などに使用された。

「開拓使東京第3号園留学アイヌ人」「札幌麦酒製造所開業式」「新移民小屋及耕作之景」など明治期の北海道の様子を写した写真資料のほか、アイヌの風俗を描いた絵画資料についても複数回の申請があった。一番利用が多かったアイヌ絵資料は、秦憶丸作で箱館のアイヌ絵師である平沢屏山による写本「蝦夷島奇観」であった。この資料は、有名な蝦夷風俗画のひとつで、カモイノミ

やイオマンテなどのアイヌの風俗が鮮やかな色彩で描かれている。同じ筆者の「東蝦夷地名考」など5点を、アイヌ語地名に関する展覧会へ貸付けた。



蝦夷島奇観（人）[カモイノミの図]（寛政12年）



東蝦夷地名考（文化5年）

B 国際連携強化

(1) 国連寄託図書館、EU 情報センター

図書館は、日本で3番目の国連寄託図書館であり、日本で8番目のEU情報センター（EUi）である。

1) EU フレンドシップウィーク関連図書展示

毎年、駐日欧州連合代表部広報部と国内のEU情報センターが、ヨーロッパデー（5月9日）前後に連携して行う『日・EU フレンドシップウィーク』のイベントに参加している。今年は、5月9日（木）～5月31日（金）

に、オープンエリアで「新聞で知る EU ～ EPA・SPA・Brexit」と題して、大学院公共政策学遠藤乾教授の EU 関連新聞記事ならびに関連図書の展示を行った。



図書展示の様子

2) 国際広報センターとの協力

初の試みとして、5月9日（木）と11月7日（木）に高等教育推進機構の教員と連携して、「SDGsを知るための第一歩」と題して、国連寄託図書館の関連資料、利用等に関する講習会を開催し、約40名が参加した。



講習会の様子

C 展示会・公開イベント

(1) 就活応援！就活・お仕事関連図書展示

3月1日（金）～6月28日（金）、就職活動する学生を応援するため「就活応援！就活・お仕事関連図書展示」を北図書館で行った。面接対策やビジネスマナー等就職活動に役立つ図書を93冊展示し、80冊が延べ207回貸し出された。



展示の様子

(2) 事務職員のお仕事応援展示

本館及び北図書館において「事務職員のお仕事応援展示」を開催した。

長谷川晃理事、関靖直事務局長、事務局各部から推薦を受けた、事務職員の自己研鑽・技術向上などに役立つ図書44冊を展示し、多数の職員・学生が来場した。



北図書館の展示の様子

4 その他

A 外部資金獲得

(1) 古本募金獲得

図書館では、自己収入獲得を目的として平成 28 年から「古本募金」事業に取り組んでいる。本館・北図書館に設置した回収ステーションに古本を入れてもらう他、部局図書館・室や研究室等での回収も行っている。

古本は業者が買い取り図書館の雑収入となる。用途は図書館での教育支援・研究支援とし、北図書館の語学学習用機器の更新等に使用した。

なお、ブックポスト型の回収ステーションは、本学サステイナブルキャンパス推進本部による提案募集型事業「サステイナブルキャンパスをつくる！」に採用され購入したものである。

(2) 外部資金申請

「科学研究費助成事業（研究成果公開促進費）データベース部門」及び「科学研究費助成事業（奨励研究）」に申請し、採択された。

いずれも「創基 150 年に向けた附属図書館のチャレンジ」の一環であり、前者では、谷本研究開発室員を代表者とし、北方資料データベースの機能向上、国際化の進展を図った。後者は図書館職員が研究代表者をつとめ、引用ネットワークに基づく論文評価指標の課題について研究を行った。

また、「国立情報学研究所公募型共同研究」に申請し、採択された。本学における成果発信基盤の拡充について、国立情報学研究所教員とともに研究を行っている。

学内の図書館外の資金として、「総長リーダーシップ経費—海外大学との交流事業」及び「スーパーグローバル大学創成支援事業」に申請・採択された。「総長リーダーシップ経費」では、オーストラリアの大学図書館におけるオープンサイエンス・研究データ管理の先行事例調査を行い、海外の先進的な事例の情報収集を行った。「スーパーグローバル大学創成支援事業」では、「英語論文の書き方セミナー（基礎編）」を実施した（詳細は 9 ページ参照）。

重点項目 1

ラーニングサポート室等の関係部局と連携し、学生の自主的な学習やグローバル化を支援するイベントの開催

(1) 自主的な学習の支援

1) ラーニングサポート室との連携

ラーニングサポート室と連携し、学部学生向けの効果的な学習・研究法を身につけるためのセミナーを引続き開催する。初年次学生を対象とした「スタディ・スキルセミナー」や 3 年次以上を対象とした「これから論文を書く人のための文献収集セミナー」等、学生のニーズを反映させた内容やテーマを検討し、自ら学び課題解決に取り組むことのできる学生の育成を支援する。

2) 法学研究科との連携

法学政治学資料センターと協力し、文献収集セミナー（法学編）を開催する。法情報の基礎的な探し方を法学政治学資料センターと図書館の職員が相互補完しながらレクチャーする講習会を実施する。

3) 授業との連携

授業やゼミ等において、文献収集や管理方法等、希望に応じた内容でカスタマイズが可能なオーダーメイド講習会を活用してもらうよう案内を行う。また、専門分野に特化した文献収集法等の依頼については、部局図書室と協力し、実施体制の強化を図る。新たに、留学生や日本人学生がともに学ぶ授業において、学生同士が交流を深めるイベント等を検討する。

4) 快適な学習空間の提供

アクティブラーニングフロアやサイレントルーム等の多彩な学習環境の充実を図る。学内部局と連携したイベント開催や授業での施設利用の他、学生の成果発表やイベント等の開催場所としても図書館内のフロアやセミナールーム等を活用してもらい、学生の主体的な学習を支援する。

(2) グローバル人材育成支援

国連等の国際機関の文書や統計情報の収集スキルを身に付け、グローバルな課題をより深く知るために役立つ、

国際機関情報の探し方セミナーを開催する。また、グローバル社会で活躍するために必要な語学力を養うための新渡戸カレッジ応援イベント「めざせ100万語！英語多読マラソン」を引き続き実施する。

重点項目 2

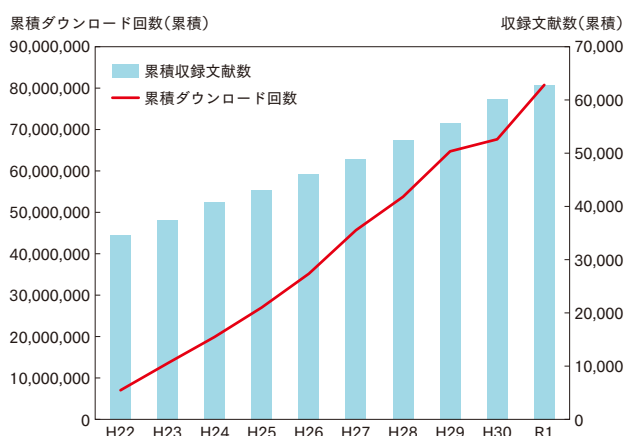
HUSCAP を通じた本学の 教育研究成果の社会への発信

引き続き HUSCAP を通じて本学の教育研究成果の社会への発信を行う。特に HUSCAP の研究データ対応について、新 JAIRO Cloud への移行検討を含めた、より具体的な準備を始める。

(1) 登録公開状況

新規登録公開は、3,271 件、累積収録文献数は 63,486 件、最近5年間の平均収録文献数は 3,475 件、累積ダウンロード数は、80,965,541 件である。

累積収録文献数及び累積ダウンロード数



(2) 令和2年度年度計画数値目標と実施計画

1) 年間 3,000 件のコンテンツ増加

現在学内研究者の学術論文を Web of Science を用いて捕捉し、HUSCAP への登録を促している。

年間 3,000 件のコンテンツを増加させるため、コンテンツの収集に関し、研究論文本文を中心とするこれまでの方針を継続しつつ、本学の教育研究活動による多様な成果を保存・継承するために、実験結果・観測結果などのデータ類の収集や、閲覧頻度の高い教育資料の登録を進める。

2) 研究データ対応への準備

研究データに関しては、国立情報学研究所で現在開発中の研究データ管理基盤 (GakuNin RDM) との連携を視野に入れる必要がある。研究データに対応した JPCOAR スキーマのシステムへの実装は令和元年12月に完了したが、研究管理基盤と連携した研究データの収集・公開の実現のため、令和2年10月より稼働予定の新 JAIRO Cloud への移行検討を含めた、より具体的な対応の準備を開始する。

連携事業

平成 31（令和元）年度

No.	時期	内容	連携・連携先	学内外	備考
1	3/27 - 6/3	北大生協書籍部・北図書館合同新入生応援企画「ようこそ北大へ！ ～新生活を彩る、役に立つ、やる気のでる！ おすすめ本～」展示（北図書館）	北海道大学生生活協同組合書籍部	学外	
2	4/5	国際連携機構 HUSTEP 留学生向け図書館オリエンテーション（北図書館）	国際連携機構	学内	
3	4/5	国際連携機構日本語・日本文化研修（JLCS）プログラム学生向け図書館オリエンテーション（北図書館）	国際連携機構	学内	
4	4/15	EBSCOhost 講習会	EBSCO	学外	
5	4/15	DynaMed Plus 講習会	EBSCO	学外	
6	4/15、4/17、5/9	文献収集セミナー法学編（春） 全 3 回	法学政治学資料センター	学内	
7	4/15 - 19、4/22 - 24	スタディ・スキルセミナー（春） 全 16 回	ラーニングサポート室	学内	
8	4/16 - 19	SciFinder 講習会 全 9 回	化学情報協会	学外	
9	4/18 - 19	Reaxys 講習会 全 4 回	エルゼビア・ジャパン	学外	
10	4/22、4/25	「めざせ 100 万語！ 英語多読マラソン」スタートアップガイダンス（春季） 全 2 回（北図書館）	高等教育推進機構 畑中貴美特任講師	学内	
11	5/9	CoSTEP プログラム生向け図書館利用ガイダンス（北図書館）	高等教育推進機構科学技術コミュニケーション教育研究部門	学内	
12	6/3 - 7/12	第 4 回北海道大学フィンランドディ関連資料展示（北図書館）	北海道大学欧州ヘルシンキオフィス	学内	Facebook 6/5 北大時報 785 号
13	6/17 - 21	Mendeley 講習会 全 9 回	エルゼビア・ジャパン	学外	
14	6/19	eol 講習会	プロネクサス	学外	
15	6/24 - 7/1	高校物理補講	ラーニングサポート室	学内	
16	7/1 - 8/19	【物理・数学・統計学・化学】入門図書展示（北図書館）	ラーニングサポート室	学内	Facebook 7/1 北大時報 786 号
17	7/11 - 8/14	学生団体「humal」シンポジウム応援展示@北図書館（北図書館）	学生団体「humal」	学外	Facebook 7/11
18	7/16 - 9/26	「全国読書マラソン・コメント大賞」連携図書展示（本館・北図書館）	全国大学生生活協同組合連合会、北大生協	学外	Facebook 7/17、7/23
19	9/6 - 11/5	学部選択参考図書展示企画（北図書館）	ラーニングサポート室	学内	Facebook 9/8
20	9/19	IOP 英語論文執筆セミナー（情報科学研究院棟）	IOP パブリッシング	学外	
21	9/20、9/25	高大連携高校生向け図書館オリエンテーション（北図書館）	高等教育推進機構	学内	
22	9/26	国際連携機構日本語・日本文化研修（JLCS）プログラム学生向け図書館オリエンテーション（北図書館）	国際連携機構	学内	
23	9/26	国際連携機構 HUSTEP 留学生向け図書館オリエンテーション（北図書館）	国際連携機構	学内	
24	10/1 - 4、10/7 - 10	スタディ・スキルセミナー（秋） 全 16 回	ラーニングサポート室	学内	
25	10/16 - 18	SciFinder 講習会 全 6 回	化学情報協会	学外	
26	10/23 - 24	Reaxys 講習会 全 3 回	エルゼビア・ジャパン	学外	
27	10/24	日経テレコン講習会（就活用・卒論用） 全 2 回	日経メディアマーケティング	学外	
28	10/27 - 11/9	「おかえり、某の場所で待ってるよ」函館市内の 9 図書館・函館為屋書店合同展示（水産科学研究院）	キャンパスコンソーシアム函館	学外	
29	10/28	オープンアクセスウィークセミナー「オープンサイエンス事始め：Zotero や Figshare を使いこなす」（北図書館）	メディア・コミュニケーション研究院 ミヒャエル・シルツ准教授	学内	
30	11/1 - 12/2	TEDxHokkaidoU カンファレンス関連展示（北図書館）	TEDxHokkaidoU	学内	Facebook 11/1
31	11/8	国際機関情報の探し方セミナー 統計編（OECD 編）	OECD 東京センター	学外	
32	11/14、22	文献収集セミナー法学編（秋） 全 2 回	法学政治学資料センター	学内	
33	11/20	eol 講習会	プロネクサス	学外	
34	12/2 - 3/19	「トビタテ！留学 JAPAN」参加学生との協働による資料展示企画	トビタテ！留学 JAPAN 参加学生有志	学内	
35	12/17	Writing for Academic Journals（フロンティア応用科学研究棟）	人材育成本部 I-HoP	学内	Facebook 12/3
36	12/19	これから論文を書く学生さんのための「Web of Science + EndNote basic」講習会	クラリベイト・アナリティクス	学外	
37	12/20	研究成果発信・論文執筆セミナー Web of Science を活用した効果的な研究の進め方	クラリベイト・アナリティクス、獣医学研究院	学内、学外	Facebook 12/15
38	12/21	ノーベル文学賞記念企画「キノコとシロンスクとトカルチュク」（共催）	スラブ・ユーラシア研究センター	学内	Facebook 12/12
39	11/25 - 12/6、1/7 - 1/17	事務職員のお仕事応援展示（本館、北図書館）	事務局長、事務局	学内	Facebook 11/25
40	2/14	英語論文の書き方セミナー（基礎編）	理化学研究所	学外	

ガイダンス・講習会

平成 31（令和元）年度

No.	時期	内容
1	4/1	新任教員向けガイダンス（文学研究院）
2	4/1 - 5/30、9/27 - 11/30	文学部図書室 10 分ガイダンス、全 10 回
3	4/2	2 年次進級ガイダンス（文学部）
4	4/3	入学ガイダンス（文学院）
5	4/5	国際連携機構 HUSTEP 留学生向け図書館オリエンテーション（北図書館）
6	4/5	国際連携機構日本語・日本文化研修（JLCS）プログラム学生向け図書館オリエンテーション（北図書館）
7	4/8	オーダーメイド講習会（農業経済学概論）
8	4/8	オーダーメイド講習会（文学研究院：佐藤健太郎准教授）
9	4/8、10/7	新入留学生向け説明会（文学部、文学院、文学研究院）
10	4/9	文献検索ガイダンス（水産科学研究院）
11	4/12	オーダーメイド講習会（文学研究院：立澤史郎助教）
12	4/15	MLA International Bibliography 講習会兼オーダーメイド講習会（文学研究院：瀬名波栄潤教授）
13	4/15	EBSCOhost 講習会
14	4/15	DynaMed Plus 講習会
15	4/15、4/17、5/9	文献収集セミナー法学編（春） 全 3 回
16	4/15 - 19、4/22 - 24	スタディ・スキルセミナー（春） 全 16 回
17	4/16 - 19	SciFinder 講習会 全 9 回
18	4/16	図書館情報入門（農学研究院：高橋昌志教授）
19	4/16	図書館情報入門（理学院：小林真平准教授）
20	4/17	オーダーメイド講習会（法学研究科：児矢野マリ教授）
21	4/18 - 19	Reaxys 講習会 全 4 回
22	4/18	図書館情報入門（工学研究院：大井俊彦准教授）
23	4/18	図書館情報入門（情報科学研究院：小柳香奈子准教授）
24	4/18	文献検索ガイダンス（水産科学研究院）
25	4/19	図書館情報入門（農学研究院：満園勇准教授）
26	4/22、4/25	「めざせ 100 万語！英語多読マラソン」スタートアップガイダンス（春季） 全 2 回（北図書館）
27	4/23	図書館情報入門（文学研究院：佐々木亨教授）
28	4/23	オーダーメイド講習会（法学研究科：山崎幹根教授）
29	4/24	図書館情報入門（文学研究院：結城雅樹教授）
30	4/24	図書館情報入門（農学研究院：清水池義治講師）
31	4/24	図書館情報入門（工学研究院：村井祐一教授）
32	4/24	オーダーメイド講習会（文学研究院：佐々木亨教授）
33	4/25	図書館情報入門（法学研究科：桑原朝子教授）
34	4/25	図書館情報入門（経済学研究院：松村史穂准教授）
35	4/25	図書館情報入門（情報科学研究院：土橋宜典准教授）
36	4/25	図書館情報入門（歯学研究院：東野史裕准教授）
37	4/25	図書館情報入門（高等教育推進機構：鈴木誠教授）
38	4/25	オーダーメイド講習会（工学研究院：麻里哲広助教）
39	5/7	図書館情報入門（経済学研究院：阿部智和准教授）
40	5/7	図書館情報入門（農学研究院：幸田圭一講師）
41	5/8	図書館情報入門（薬学研究院：室本竜太講師）
42	5/8	図書館情報入門（公共政策学研究センター：榎本芳人教授）
43	5/8	図書館情報入門（工学研究院：郷原一壽教授）
44	5/8	CoSTEP プログラム生向け図書館利用ガイダンス（北図書館）
45	5/9	図書館情報入門（高等教育推進機構：亀野淳准教授）
46	5/9	オーダーメイド講習会（高等教育推進機構：式部絢子非常勤講師）
47	5/10	図書館情報入門（医学研究院：秋田弘俊教授）
48	5/14	図書館情報入門（情報科学研究院：大鐘武雄教授）
49	5/15、6/13、25、7/5	図書館 30 分セミナー これから始める論文入手編（前期） 全 4 回
50	5/15	図書館情報入門（高等教育推進機構：三上直之准教授）
51	5/15	図書館情報入門（農学研究院：合崎英男准教授）
52	5/16	図書館情報入門（農学研究院：小関成樹准教授）
53	5/17	オーダーメイド講習会（経済学研究院：松村史穂准教授）
54	5/29	図書館情報入門（歯学研究院：高橋茂准教授）
55	5/29	図書館情報入門（低温科学研究所：笠原康裕准教授）
56	5/30	図書館情報入門（法学研究科：眞壁仁教授）
57	5/30	図書館情報入門（触媒科学研究所：大谷文章教授）
58	5/31、6/13	文献の収集と管理のセミナー文系編（春） 全 4 回
59	6/4	図書館情報入門（保健科学研究院：井上貴雄助教）
60	6/5、12	オーダーメイド講習会（医学研究院：玉腰暁子教授）
61	6/6	図書館情報入門（医学研究院：横田勲准教授）
62	6/12	図書館情報入門（メディア・コミュニケーション研究院：北村倫夫教授）

No.	時期	内容
63	6/13	図書館情報入門(医学研究院:村上学助教)
64	6/17-21	Mendeley講習会 全9回
65	6/19	eol講習会
66	6/20	図書館情報入門(低温科学研究所:杉山慎教授)
67	6/20	オーダーメイド講習会(保健科学研究院:看護研究I)
68	6/24-7/1	高校物理補講
69	6/28	看護研究研修(病院:看護部)
70	7/3	オーダーメイド講習会(歯学研究概論)
71	7/5	オーダーメイド講習会(農学研究院:齋藤陽子講師)
72	7/5	ジャパンナレッジ講習会 全2回
73	7/9	図書館情報入門(農学研究院:松浦英幸教授)
74	9/19	IOP英語論文執筆セミナー(情報科学研究院棟)
75	9/20、9/25	高大連携高校生向け図書館オリエンテーション(北図書館)
76	9/26	国際連携機構日本語・日本文化研修(JLCS)プログラム学生向け図書館オリエンテーション(北図書館)
77	9/26	国際連携機構HUSTEP留学生向け図書館オリエンテーション(北図書館)
78	10/1-4、10/7-10	スタディ・スキルセミナー(秋) 全16回
79	10/4、24、11/1、12/12	図書館30分セミナー これから始める論文入手編(後期) 全4回
80	10/7	オーダーメイド講習会(教育学研究院:大谷和大助教)
81	10/8	放送大学生向け図書館オリエンテーション(北図書館)
82	10/8、11	オーダーメイド講習会(法学研究科:田口正樹教授)
83	10/9	図書館情報入門(文学研究院:金沢英之教授)
84	10/10、17	オーダーメイド講習会(保健科学研究院:山本徹教授)
85	10/11	図書館情報入門(理学研究院:鈴木孝紀教授)
86	10/15	図書館情報入門(法学研究科:會澤恒教授)
87	10/15	SciFinder Start-up Guidance(北キャンパス図書室) 全2回(日本語と英語が1回ずつ)
88	10/16-18	SciFinder講習会 全6回
89	10/16	図書館情報入門(農学研究院:園山慶教授)
90	10/16	オーダーメイド講習会(文学研究院:樋口麻里准教授)
91	10/16	オーダーメイド講習会(文学研究院:小川佐和子准教授)
92	10/17	図書館情報入門(保健科学研究院:佐川正特任教授)
93	10/17	図書館情報入門(高等教育推進機構:三上直之准教授)
94	10/21	図書館情報入門(経済学研究院:相原基大准教授)
95	10/21、23-25	これからの学術情報収集・発信・評価:医系研究者が知っておきたいポイント(医系グループ) 全4回
96	10/23-24	Reaxys講習会 全3回
97	10/23	現代日本学プログラム予備課程学生向け図書館オリエンテーション(北図書館)
98	10/24	日経テレコン講習会(就活用・卒論用) 全2回
99	10/25、10/31-11/1	午後の講座:オープンアクセスを見渡す・見つける・見極める(北キャンパス図書室) 全3回
100	10/25、11/21	文献の収集と管理のセミナー文系編(秋) 全4回
101	10/28	オープンアクセスウィークセミナー「オープンサイエンス事始め:ZoteroやFigshareを使いこなす」(北図書館)
102	10/29	オーダーメイド講習会(保健科学研究院:石田知也助教)
103	10/30	図書館情報入門(スラブ・ユーラシア研究センター:安達大輔准教授)
104	10/30	現代日本学プログラム予備課程学生向け図書館オリエンテーション(本館)
105	11/1	図書館情報入門(メディア・コミュニケーション研究院:北村倫夫教授)
106	11/1	国際機関情報の探し方セミナー 国連編・EU編
107	11/5	オーダーメイド講習会(薬学研究院:薬物動態解析学・臨床薬剤学)
108	11/7	オーダーメイド講習会(高等教育推進機構:式部絢子非常勤講師)
109	11/8	国際機関情報の探し方セミナー 統計編(OECD編)
110	11/12、19、21	Library E-Resource Guidance in English(北キャンパスグループ) 全3回
111	11/14、22	文献収集セミナー法学編(秋) 全2回
112	11/20	eol講習会
113	12/11、18	オーダーメイド講習会(歯学研究科:フロンティア基礎科目)
114	12/17	Writing for Academic Journals(フロンティア応用科学研究棟)
115	12/18	オーダーメイド講習会(教育学研究院:近藤健一郎教授)
116	12/19	[Web of Science+EndNote basic]講習会
117	12/20	研究成果発信・論文執筆セミナー Web of Scienceを活用した効果的な研究の進め方
118	1/15	オーダーメイド講習会(農学研究院:実山豊講師)
119	2/14	英語論文の書き方セミナー(基礎編)
120	通年	30分講習会(医系グループ) 全11回
121	通年(4/22、24、25、6/19)	オンデマンドガイダンス(北キャンパス図書室) 全4回

活動日誌 平成 31（令和元）年度

3月	3/1－6/28	就活応援！就活・お仕事関連図書展示（北図書館）
	3/27－6/3	北大生協書籍部・北図書館合同新入生応援企画「ようこそ北大へ！ ～新生活を彩る、役に立つ、やる気がでる！おすすめ本～」展示（北図書館）
4月	4/1	「北海道大学附属図書館における図書等の館外貸出に関する内規」改訂（多読資料を追加）
	4/7－4/11	国際図書館コンソーシアム連合（ICOLC）2019 年春季会合（管理課）（カナダ）
	4/19	第 51 回国立大学図書館協会北海道地区大会（館長、事務部長、管理課長）（北見工業大学）
	4/22、4/25	「めざせ 100 万語！英語多読マラソン」スタートアップガイダンス（春季）（北図書館）
	4/25	香川県立三木高等学校来館
	4/26	第 1 回図書担当係長連絡会議
5月	5/9	浜中町立散布中学校来館
	5/9－5/31	EU フレンドシップウィーク関連展示「新聞で知る EU ～EPA・SPA・Brexit」
	5/15	国立大学図書館協会春季理事会（平成 30 年度）（館長、事務部長、管理課長）（東京大学）
	5/16	浦河町立浦河東部小学校来館
	5/20	JPCOAR 第 1 回企画調整会議（研究支援課長）（NII）
	5/26－5/30	NII オープンハウス／オープンフォーラム 2019（管理課）（NII）
	5/28	北海道武蔵女子短期大学（1 年生）来館
	5/30	北海道武蔵女子短期大学（2 年生）来館
	5/30	第 90 回特定非営利活動法人日本医学図書館協会通常総会オープンフォーラム（研究支援課）（東京）
	5/30－5/31	第 90 回特定非営利活動法人日本医学図書館協会通常総会・分科会（研究支援課）（東京）
6月	6/3	全学生への返却期限日事前通知メール運用開始
	6/3－7/12	第 4 回北海道大学フィンランドディ関連資料展示（北図書館）
	6/4	第 8 回オープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会（研究支援課長）（NII）
	6/4－6/7	人工知能学会全国大会第 33 回（管理課）（新潟）
	6/5	第 1 回図書館コンソーシアム連合運営委員会（管理課）（NII）
	6/5	北海道地区大学図書館協議会平成 30 年度第 6 回幹事館会議
	6/14	SPARC JAPAN セミナー企画ワーキンググループキックオフミーティング（管理課）（NII）
	6/18	第 1 回 JPCOAR コンテンツ流通促進作業部会ミーティング（管理課）（NII）
	6/20－6/21	第 66 回国立大学図書館協会総会（館長、事務部長、管理課長）（岡山大学）
	6/24	第 24 回「これからの学術情報システム構築検討委員会」（事務部長）（NII）
	6/25	「北海道大学オープンアクセス方針」策定
	6/26	第 1 回 JPCOAR 研究データ作業部会ミーティング（研究支援課）（NII）
7月	7/1－8/19	【物理・数学・統計学・化学】入門図書展示（北図書館）
	7/3	第 1 回学術研究コンテンツ小委員会
	7/4	留学生との対話イベント「世界の天秤を直そう」（北図書館）
	7/4	厚真町立厚南中学校来館
	7/5、7/7	図書館総合展参加者見学ツアー（7 日は自由見学）
	7/9	第 62 回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会（第 4 回）（北海道医療大学）（研究支援課）
	7/10	旭川大学高等学校来館
	7/11－8/14	学生団体「humal」シンポジウム応援展示@北図書館（北図書館）
	7/16－9/26	「全国読書マラソン・コメント大賞」連携図書展示（本館・北図書館）
	7/19	第 240 回図書館委員会（令和元年度第 1 回）
	7/19	第 1 回図書選定小委員会（メール審議）
	7/19	北海道地区私立大学図書館協議会 2019 年度第 1 回業務研究会（利用支援課、研究支援課）
	7/22	第 1 回システムモデル検討作業部会（事務部長）（NII）
	7/23	「カラフトナヨロ惣乙名文書（ヤエンコロアイヌ文書）」の重要文化財指定官報告示
	7/26	第 2 回図書担当係長連絡会議

8月	8/1	第1回システムワークフロー検討作業部会（管理課、研究支援課）（NII）
	8/2	「研究データ管理の学内ニーズ調査アンケートの設計」第1回会合（研究支援課長）（学術総合センター）
	8/2	第62回北海道地区大学図書館研究集会運営（研究支援課）（北海道医療大学）
	8/4	オープンキャンパス自由参加プログラム（自由見学）（本館、北図書館）
	8/6	第1回学術情報流通推進委員会（管理課長）（NII）
	8/21	第69回北海道地区大学図書館協議会総会（館長、部長、管理課長、利用支援課長、利用支援課課長補佐）（札幌）
	8/31 - 9/2	第50回大学図書館問題研究会全国大会（管理課）（神戸）
9月	9/3 - 9/4	RA協議会第5回年次大会（管理課）（電気通信大学）
	9/4 - 9/5	北海道図書館大会（研究支援課）（札幌）
	9/5	紋別市立南丘小学校来館
	9/6 - 11/5	学部選択参考図書展示企画（北図書館）
	9/12 - 9/13	北海道地区大学図書館職員フレッシュ・パーソン・セミナー
	9/14	北海高等学校来館
	9/19 - 9/20	情報処理学会第47回研究会（管理課）（広島大学）
	9/20 - 10/4	北海道大学ホームカミングデー2019部局行事「古本募金強化週間」
	9/25	本館「北方資料」「科研費報告書」館外貸出対象者拡大試行（～2020/9/30）
	9/26	札幌光星中学校来館
	9/27 - 11/29	『ともに生きるための教育学へのレッスン40』出版記念展示（教育学部）
10月	10/2	医書電子化検討ワーキンググループ会議（研究支援課）（東京）
	10/2	古典籍共同研究事業センター拠点連携委員会（利用支援課課長補佐）（東京）
	10/3	オープンアクセスリポジトリ推進協会コンテンツ流通促進作業部会訪問調査（管理課）（酪農学園大学）
	10/4	札幌市立栄南中学校来館
	10/23	第9回オープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会（研究支援課長）（NII）
	10/23 - 10/25	Research Data Alliance 学会ポスター発表（管理課、研究支援課）（フィンランド・アールト大学）
	10/24	第1回SPARC Japan セミナー2019運営補助（管理課）（NII）
	10/24	第1回学術成果刊行助成審査委員会
	10/25	第2回学術研究コンテンツ小委員会
	10/27 - 11/9	「おかえり、菜の場所で待ってるよ」函館市内の9図書館・函館蔦屋書店合同展示（水産科学研究院）
	10/28	本館防災訓練
	10/28	オープンサイエンス事始め：Zotero や Figshare を使いこなす（北図書館）
	10/29	第25回「これからの学術情報システム構築検討委員会」（事務部長）（NII）
	10/30	札幌市立啓明中学校来館
11月	11/1 - 12/2	TEDxHokkaidoU カンファレンス関連展示（北図書館）
	11/5	第3回教育・研究委員会 JMLA 学術集会ワーキンググループ（研究支援課）（東京）
	11/6	北図書館消防訓練
	11/8	第93次国立七大学附属図書館協議会・国立大学図書館協会秋季理事会（令和元年度）（館長、事務部長、管理課長）（広島大学）
	11/12	第21回図書館総合展ポスターセッション（管理課）（横浜）
	11/12 - 11/14	第21回図書館総合展（管理課、利用支援課）（横浜）
	11/14	第21回図書館総合展フォーラム運営（研究支援課長）（横浜）
	11/15	附属図書館公式キャラクター運用変更
	11/19	第3回学術研究コンテンツ小委員会
	11/21	Ex Libris 社製 Alma の共同調達に関する調査のための視察（事務部長、研究支援課）（早稲田大学）
	11/22	令和元年度国立大学図書館協会北海道地区協会事務部課室長会議（事務部長、管理課長、利用支援課長、研究支援課長）
	11/22	第2回図書選定小委員会（メール審議）
	11/22	北海道教育大学附属函館中学校来館
	11/25	中国科学院大学来館
	11/25 - 12/6	事務職員のお仕事応援展示（北図書館）

12月	12/2 - 12/31	KinoDen で電子ブックを選んでみよう（選書会）
	12/2 - 3/19	「トビタテ！留学 JAPAN」参加学生との協働による資料展示企画（北図書館）
	12/4 - 12/6	九州大学シンポジウム・ワークショップ「大学における研究データサービス」（管理課）（九州大学）
	12/6	第4回 JMLA 学術集会（研究支援課）（東京）
	12/11	第241回図書館委員会（令和元年度第2回）
	12/12	図書館 HP お知らせ欄をタブ表示に改修
	12/12 - 12/14	大学 ICT 推進協議会（管理課、研究支援課長、研究支援課）（福岡）
	12/12 - 1/22	企画展示「本は脳を育てる」（北図書館）
	12/15	あびらば（安平町教育委員会）来館
	12/18	学認 LMS による研究データ管理に関するオンライン講座試験運用報告会（研究支援課）（NII）
	12/18	佼成学園高等学校来館
	12/20	第2回 SPARC Japan セミナー 2019 運営補助（管理課）（筑波大学）
	12/20	第3回図書担当係長連絡会議
	12/21	ノーベル文学賞記念企画「キノコとシロンスクとトカルチュク」（共催）
	12/23	第2回学術成果刊行助成審査委員会（メール審議）
	12/24	研修出張報告会
	12/24-12/25	第2回 JPCOAR コンテンツ流通促進作業部会（管理課）（NII）
1月	1/7 - 1/17	事務職員のお仕事応援展示（本館）
	1/16	第2回システムワークフロー検討作業部会（管理課）（NII）
	1/17	シンポジウム「デジタル知識基盤におけるパブリックドメイン資料の利用条件を巡って」（利用支援課課長補佐）（東京）
	1/20 - 2/7	企画展示「ラッピングブックフェア」（北図書館）
	1/23-1/24	国連寄託図書館年次大会（利用支援課）（東京）
	1/27	第26回「これからの学術情報システム構築検討委員会」（事務部長）（NII）
	1/28-3/19	留学・旅行応援 グローバル図書展示（北図書館）
2月	2/4	研修出張報告会（特別編）：オープンサイエンス・研究データ関係
	2/7	第3回 SPARC Japan セミナー 2019・講師（研究支援課長）（NII）
	2/12	国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター拠点連携委員会・図書館吏員連絡会（利用支援課課長補佐）（東京）
	2/12-2/21	ラッピングブックフェア ネットバレ編（北図書館）
	2/13	第4回学術研究コンテンツ小委員会
	2/14	日本医書出版協会主催セミナー（研究支援課）（東京）
	2/14	英語論文の書き方セミナー（基礎編）
	2/14	国立大学図書館協会北海道地区協会企画事業「明日から実践できる！図書館職員のための英語講座」
	2/17-4/17	カラフトナヨロ惣乙名文書（ヤエンコロアイヌ文書）展
	2/20-4/17	就活応援！就活・お仕事関連図書展示（北図書館）
	2/21	「メディア・コミュニケーション研究院／国際広報メディア・観光学院 FD 研修」講師
	2/25-26	システム共同運用記念シンポジウム～早慶図書館の挑戦（事務部長、研究支援課）
	2/26	医書電子化検討ワーキンググループ会議（研究支援課）（東京）
	2/27	京都大学葛ユニットワークショップ（研究支援課長）（京都大学）
3月	3/5	第3回図書選定小委員会（メール審議）
	3/5	「地球環境科学研究院 FD 研修」講師
	3/11	第242回図書館委員会（令和元年度第3回）
	3/30	第1回点検評価小委員会及び第243回図書館委員会（令和元年度第4回）（メール審議）

学外講師派遣等

平成31（令和元）年度

No.	時期	報告者	内容	発表先・媒体	連携・連携先	学内外	備考
1	6月	川村路代	JMLA 活動報告 第3回 JMLA 学術集会開催報告。 ／白土裕子、川村路代、工藤千絵。	医学図書館 66（2）：114-118、2019。		学外	寄稿
2	6月	川村路代	精神科薬物療法の出口戦略を考える ADHD 薬物 治療の出口戦略を考える／齊藤卓弥、辻井農亜、 宇佐美政英、桑原秀徳、藤田純一、根来秀樹、川 村路代、飯田順三、岡田俊	精神神経学雑誌 2019 特別号 Page S746		学外	会議録(システ マティックレ ビュー支援によ る成果物)
3	7/12	川村路代	北海道大学におけるシステマティックレビュー支 援：始まりとその先	第15回学術情報ソリューションセミ ナー 2019 in SAPPORO		学外	発表
4	8/2	三隅健一	図書館不安について	第62回北海道地区大学図書館職員研究 集会		学外	発表
5		菊地隆憲	Evaluation methods and impact of simulation- based training in pediatric surgery: a systematic review./Shinichiro Yokoyama, Kenichi Mizunuma, Yo Kurashima, Yusuke Watanabe, Tomoko Mizota, Saseem Poudel, Takanori Kikuchi, Fujimi Kawai, Toshiaki Shichinohe, Satoshi Hirano	Pediatric surgery international 35, 1085-1094 (2019).		学外	論文(システマ ティックレ ビュー支援によ る成果物)
6	9/20	千葉浩之	ハゲタカジャーナル問題：大学図書館員の視点から	カレントアウェアネス(341)：12-14、 2019。		学外	寄稿
7	11/11	川村路代	大学図書館との連携による地域住民のヘルスリテ ラシーの向上	介護予防趣旨普及イベント「北区と北 大でつくる生きがいをもって暮らせる まち～介護予防でいきいき元気～」	札幌市北区保 健福祉部保健 福祉課	学外	発表
8	11/14	結城憲司	研究データ管理のための教材作成	図書館総合展JPCOARフォーラム		学外	発表
9	12/12	結城憲司	北海道大学における研究データ管理に関するアン ケート実施報告	AXIES(大学ICT推進協議会)2019年度 年次大会 研究データマネジメント部 会企画セッション		学外	発表
10	12/19	千葉浩之	研究を支える図書館員なら知っておきたい論文評 価の基礎知識	2019年度NPO法人日本医学図書館協 会北海道地区会研修会		学外	講師
11	1/9	川村路代	思春期世代のヘルスリテラシー	北区思春期ヘルスケア事業ネットワ ーク研修会	札幌市北区保 健福祉部健康・子ども課	学外	講師
12	1/17	川村路代	Effect of Discontinuation versus Maintenance of Pharmacological Treatment on Quality of Life after Symptomatic Remission in children, adolescent, and Adults with attention-Deficit/ hyperactivity disorder: A Systematic Review and Meta-Analysis of Randomized Controlled Trials/ Takuya Saito, Noa Tsujii, Masahide Usami, Hidenori Kuwabara, Junichi Fujita, Hideki Negoro, Michiyo Kawamura, Junzo Iida, Takashi Okada	APSARD2020 ANNUAL MEETING		学外	ポスター発表 (システマ ティックレ ビュー支援によ る成果物)
13	2/7	結城憲司	JPCOARによる研究データマネジメント人材の育 成と研究データに関する取組について	第3回SPARC Japanセミナー2019		学外	発表
14	2/27	結城憲司	JPCOARのオープンサイエンス・研究データマネ ジメントに関する取り組み	第3回京都大学研究データマネジメント ワークショップ		学外	発表
15	3月	川村路代	Effect of continuing and discontinuing medications on quality of life after symptomatic remission in attention-deficit/hyperactivity disorder: a systematic review and meta-analysis./ Noa Tsujii, Takashi Okada, Masahide Usami, Hidenori Kuwabara, Junichi Fujita, Hideki Negoro, Michiyo Kawamura, Junzo Iida and Takuya Saito	Journal of Clinical Psychiatry. 2020; 81 (3): 19r13015.		学外	論文(システマ ティックレ ビュー支援によ る成果物)

統計

基盤統計

令和元年度雑誌所蔵・受入種類統計（対象期間：H31.4.1～R2.3.31）

区分	所蔵種類数 (令和2年3月31日現在)			受入冊数（令和元年度）								
				購入			寄贈			合計		
	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計
附属図書館（本館）	20,690	13,249	33,939	159	31	190	406	33	439	565	64	629
附属図書館（北図書館）	922	604	1,526	134	5	139	11	1	12	145	6	151
文学研究院・文学部	3,410	1,785	5,195	245	201	446	504	11	515	749	212	961
法学研究科・法学部	646	314	960	131	181	312	302	26	328	433	207	640
経済学院・経済学部	1,041	257	1,298	173	44	217	332	26	358	505	70	575
医学研究院・医学院・医学部	3,270	2,500	5,770	182	30	212	175	6	181	357	36	393
歯学研究院・歯学院・歯学部	576	503	1,079	34	12	46	126	14	140	160	26	186
工学研究院	2,579	2,707	5,286	105	21	126	120	16	136	225	37	262
獣医学研究院	562	878	1,440	20	21	41	37	15	52	57	36	93
情報科学研究院	392	462	854	62	6	68	50	0	50	112	6	118
水産科学研究院・水産科学院・水産学部	3,225	2,224	5,449	73	18	91	196	30	226	269	48	317
地球環境科学研究院	266	329	595	25	3	28	19	1	20	44	4	48
理学研究院・理学院・理学部	763	3,505	4,268	50	105	155	37	137	174	87	242	329
薬学研究院・薬学部	162	131	293	10	0	10	27	0	27	37	0	37
農学研究院	5,267	3,516	8,783	177	53	230	260	70	330	437	123	560
先端生命科学研究院	12	14	26	7	1	8	0	0	0	7	1	8
教育学院・教育学研究院	758	184	942	118	17	135	107	2	109	225	19	244
メディア・コミュニケーション研究院	169	171	340	65	25	90	8	0	8	73	25	98
保健科学研究院	811	133	944	47	2	49	37	1	38	84	3	87
公共政策大学院	2	0	2	4	0	4	0	0	0	4	0	4
低温科学研究所	827	946	1,773	15	1	16	51	11	62	66	12	78
電子科学研究所	18	6	24	12	1	13	0	0	0	12	1	13
遺伝子病制御研究所	5	22	27	2	0	2	1	0	1	3	0	3
触媒科学研究所	80	377	457	10	1	11	5	2	7	15	3	18
スラブ・ユーラシア研究センター	190	1,629	1,819	15	169	184	44	26	70	59	195	254
情報基盤センター	50	6	56	3	0	3	0	0	0	3	0	3
国際連携機構	2	1	3	7	0	7	1	0	1	8	0	8
高等教育推進機構	88	71	159	13	8	21	3	2	5	16	10	26
総合博物館	825	418	1,243	1	0	1	2	1	3	3	1	4
北方生物圏フィールド科学センター	14	65	79	23	4	27	1	0	1	24	4	28
大学文書館	247	6	253	68	3	71	35	2	37	103	5	108
アイヌ・先住民研究センター	112	12	124	2	1	3	1	0	1	3	1	4
創成研究機構	5	0	5	4	0	4	2	0	2	6	0	6
計	47,986	37,025	85,011	1,996	964	2,960	2,900	433	3,333	4,896	1,397	6,293

令和元年度蔵書・受入統計（対象期間：H31.4.1～R2.3.31）

区分	所蔵冊数 (令和2年3月31日現在)			受入冊数（令和元年度）											
				購入			寄贈			製本			総計		
	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計
附属図書館（本館）	990,967	830,455	1,821,422	4,533	384	4,917	879	390	1,269	208	55	263	5,620	829	6,449
附属図書館（北図書館）	263,279	117,051	380,330	4,182	264	4,446	181	1,083	1,264	27	0	27	4,390	1,347	5,737
文学研究院・文学部	162,955	115,860	278,815	1,247	301	1,548	3,239	1,467	4,706	189	147	336	4,675	1,915	6,590
法学研究科・法学部	7,827	1,713	9,540	221	122	343	612	229	841	302	305	607	1,135	656	1,791
経済学院・経済学部	9,455	3,691	13,146	102	49	151	389	59	448	238	19	257	729	127	856
医学研究院・医学院・医学部	53,063	94,066	147,129	604	72	676	341	30	371	106	31	137	1,051	133	1,184
歯学研究院・歯学院・歯学部	22,864	16,294	39,158	207	6	213	26	2	28	68	29	97	301	37	338
工学研究院	103,098	101,131	204,229	859	126	985	58	17	75	288	31	319	1,205	174	1,379
獣医学研究院	10,167	25,289	35,456	56	11	67	5	14	19	5	15	20	66	40	106
情報科学研究院	13,568	17,280	30,848	118	1	119	0	36	36	0	0	0	118	37	155
水産科学研究院・水産科学院・水産学部	73,596	54,745	128,341	485	31	516	54	120	174	53	47	100	592	198	790
地球環境科学研究院	9,871	9,032	18,903	86	94	180	22	1	23	7	0	7	115	95	210
理学研究院・理学院・理学部	44,826	173,088	217,914	360	144	504	652	648	1,300	20	19	39	1,032	811	1,843
薬学研究院・薬学部	7,689	3,624	11,313	91	2	93	14	0	14	12	0	12	117	2	119
農学研究院	129,597	97,658	227,255	569	58	627	3,130	744	3,874	100	165	265	3,799	967	4,766
先端生命科学研究院	337	257	594	24	6	30	0	0	0	0	0	0	24	6	30
教育学院・教育学研究院	17,577	4,346	21,923	362	129	491	118	30	148	115	8	123	595	167	762
メディア・コミュニケーション研究院	3,509	5,604	9,113	57	25	82	10	4	14	0	0	0	67	29	96
保健科学研究院	29,528	4,061	33,589	254	6	260	43	0	43	63	0	63	360	6	366
公共政策大学院	1	0	1	38	2	40	32	128	160	0	0	0	70	130	200
低温科学研究所	10,311	24,269	34,580	13	18	31	402	543	945	1	50	51	416	611	1,027
電子科学研究所	543	491	1,034	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
遺伝子病制御研究所	69	43	112	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
触媒科学研究所	4,773	16,766	21,539	11	4	15	3	1	4	0	0	0	14	5	19
スラブ・ユーラシア研究センター	2,527	66,220	68,747	154	830	984	147	1,322	1,469	41	282	323	342	2,434	2,776
情報基盤センター	88	1	89	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際連携機構	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等教育推進機構	3,428	746	4,174	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合博物館	10,312	3,546	13,858	0	0	0	291	6	297	0	0	0	291	6	297
北方生物圏フィールド科学センター	6,328	1,816	8,144	6	1	7	201	25	226	0	0	0	207	26	233
大学文書館	3,214	67	3,281	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務局	0	0	0	79	72	151	0	0	0	0	0	0	79	72	151
アイヌ・先住民研究センター	4,125	587	4,712	49	25	74	72	9	81	0	0	0	121	34	155
人間知・脳・AI研究教育センター	0	10	10	0	10	10	0	0	0	0	0	0	0	10	10
情報法政策学研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
創成研究機構	19	3	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1,999,512	1,789,810	3,789,322	14,767	2,793	17,560	10,921	6,908	17,829	1,843	1,203	3,046	27,531	10,904	38,435

※「所蔵冊数」は、当該部局に配架されている図書等の冊数。

※「受入冊数」は、当該部局予算による購入・製本、及び当該部局において寄贈受入した図書等の冊数で、別部局に配架した図書等を含む。なお、移動（部局をまたぐ所在変更）に伴う増減、除却に伴う減少は含まない。

電子ジャーナル提供タイトル数

出版社系パッケージ	タイトル数		計
	和	洋	
ScienceDirect (Elsevier)	0	2,323	2,323
IEEE/IET Electronic Library	0	513	513
Oxford Journal Collection	0	351	351
Wiley Online Library	0	1,479	1,479
その他	4	1,738	1,742
小計	4	6,404	6,408
アグリゲータ系パッケージ	タイトル数		計
	和	洋	
EBSCO Academic Search Premier	0	4,649	4,649
JSTOR	0	170	170
ProQuest	0	5,008	5,008
メディカルオンライン	1,423	0	1,423
その他	5	214	219
小計	1,428	10,041	11,469
合計	1,432	16,445	17,877

電子ブック提供タイトル数

出版社	タイトル数		計
	和	洋	
Academic Search Premier	0	1,363	1,363
ACM Digital Library	0	9,190	9,190
eBooks on EBSCOhost	268	501	769
Elsevier eBooks	0	584	584
JapanKnowledge Lib	1,273	2	1,275
Kinokuniya Digital Library (KinoDen)	260	1	261
Maruzen eBook Library	2,185	547	2,732
Methods in Enzymology	0	327	327
ProQuest Ebook Central	0	314	314
Science Direct eBook	0	155	155
Springer eBooks	0	20,862	20,862
Springer Lecture Notes Series	0	18,665	18,665
Wiley-Blackwell Online Books	0	451	451
その他	74	1,278	1,352
合計	4,060	54,240	58,300

契約データベース一覧

ABSEES (American Bibliography of Slavic and East European Studies)
The Arabidopsis Information Resource (TAIR)
ASFA
Biological Science Database
Book Review Digest
CINAHL
CNKI
EconLit
International Political Science Abstracts
Lexis Advance
MarinLit
MathSciNet
MLA International Bibliography/MLA Directory of Periodicals
Oxford English Dictionary
ProQuest Dissertations & Theses A&I
Reaxys
SciFinder(Academic)
Sociological Abstracts
Ulrich's International Periodicals
Web of Science Core Collection
法情報総合データベースサービス(第一法規)
医学中央雑誌
ジャパンナレッジLib
LEX/DBインターネット(TKC)
日経BP記事検索サービス
日経テレコン21

(R2.3.31 現在)

利用統計

令和元年度利用統計（対象期間：H31.4.1～R2.3.31）

区分	入館者数			貸出統計			相互協力				学内 ILL		レファレンス件数
	学内	学外	計	学生	その他	計	複写依頼	複写受付	貸借依頼	貸借受付	依頼	受付	
附属図書館（本館）	367,356	44,363	411,719	120,270	38,359	158,629	1,275	3,305	449	1,029	46	70	281
附属図書館（北図書館）	654,811	12,557	667,368	151,652	20,442	172,094	541	60	66	43	45	3	1,413
文学研究科・文学部図書室	6,625	26	6,651	2,110	448	2,558	990	318	490	62	9	23	543
経済学院・経済学部図書室	11,725	—	11,725	1,132	61	1,193	—	—	—	—	—	—	—
医学研究院・医学院・医学部図書室	45,971	386	46,357	9,604	1,253	10,857	661	924	15	8	15	45	421
歯学研究院・歯学院・歯学部図書室	21,603	147	21,750	2,405	1,018	3,423	19	113	0	3	0	7	360
工学研究院図書室	92,252	151	92,403	19,402	5,259	24,661	90	293	47	20	27	19	46
獣医学研究院図書室	—	9	9	731	166	897	21	43	1	4	13	4	—
水産科学研究院・水産科学院・水産学部図書室	33,604	154	33,758	5,517	660	6,177	32	314	154	100	17	40	488
地球環境科学研究院図書室	2,427	10	2,437	495	226	721	36	10	1	2	8	3	286
理学研究院・理学院・理学部図書室	8,288	—	8,288	7,139	2,460	9,599	108	264	17	30	46	25	135
薬学研究院・薬学部図書室	22,910	2	22,912	2,484	58	2,542	14	29	0	0	4	1	—
農学研究院図書室	52,111	—	52,111	8,125	720	8,845	183	380	37	37	30	40	318
教育学院・教育学研究院図書室	3,463	—	3,463	609	118	727	—	—	—	—	—	—	15
保健科学研究院図書室	36,214	104	36,318	2,334	316	2,650	426	238	5	2	28	16	125
低温科学研究所図書室	712	6	718	96	17	113	14	26	0	1	12	8	137
北キャンパス図書室	4,160	1	4,161	125	50	175	19	33	11	2	7	3	51
計	1,364,232	57,916	1,422,148	334,230	71,631	405,861	4,429	6,350	1,293	1,343	307	307	4,619

経済学部・教育学部は相互協力を附属図書館が担当

主要な電子ジャーナルのアクセス件数 （対象期間：H31.1.1～R1.12.31）

出版社系パッケージ	件数
ScienceDirect（Elsevier）	1,126,086
Wiley Online Library	515,107
Oxford Journal Collection	105,082
IEEE/ET Electronic Library	75,455
その他	1,418,685
小計	3,240,415
アグリゲータ系パッケージ	件数
メディカルオンライン	75,414
ProQuest	25,140
JSTOR	14,759
EBSCO Academic Search Premier	7,795
Hein Online Standard	1,147
その他	7,502
小計	131,757
合計	3,372,172

図書館 HP 等の利用

区分	学内	学外	計
図書館 HP のアクセス数	2,767,437	7,453,786	10,221,223
OPAC の検索回数	981,595	1,522,086	2,503,681
HUSCAP ダウンロード件数	51,482	9,805,202	9,856,684
北方資料データベースアクセス件数	305,936	7,656,589	7,962,525
Facebook 総いいね数			2,832

(R2.3.31 現在)

主要なデータベースのアクセス件数（上位 15 データベース） （対象期間：H31.4.1～R2.3.31）

データベース名	件数
Web of Science	381,902
SciFinder（Academic）	225,062
医中誌 web	148,665
日経テレコン 21（年間固定料金）	111,180
ジャパンナレッジ	82,074
TAIR：The Arabidopsis Information Resource	43,485
Reaxys	40,892
MathSciNet	40,735
CNKI：中国学術文献オンラインサービス	33,379
MarinLit	20,384
日経BP記事検索サービス	18,081
Ulrichsweb.com（Ulrich's International Periodicals）	6,591
LEX/DBインターネット：法科大学院教育研究支援システム（TKC）	3,550
CHINAL	2,901
EconLit	2,354
合計	1,161,235

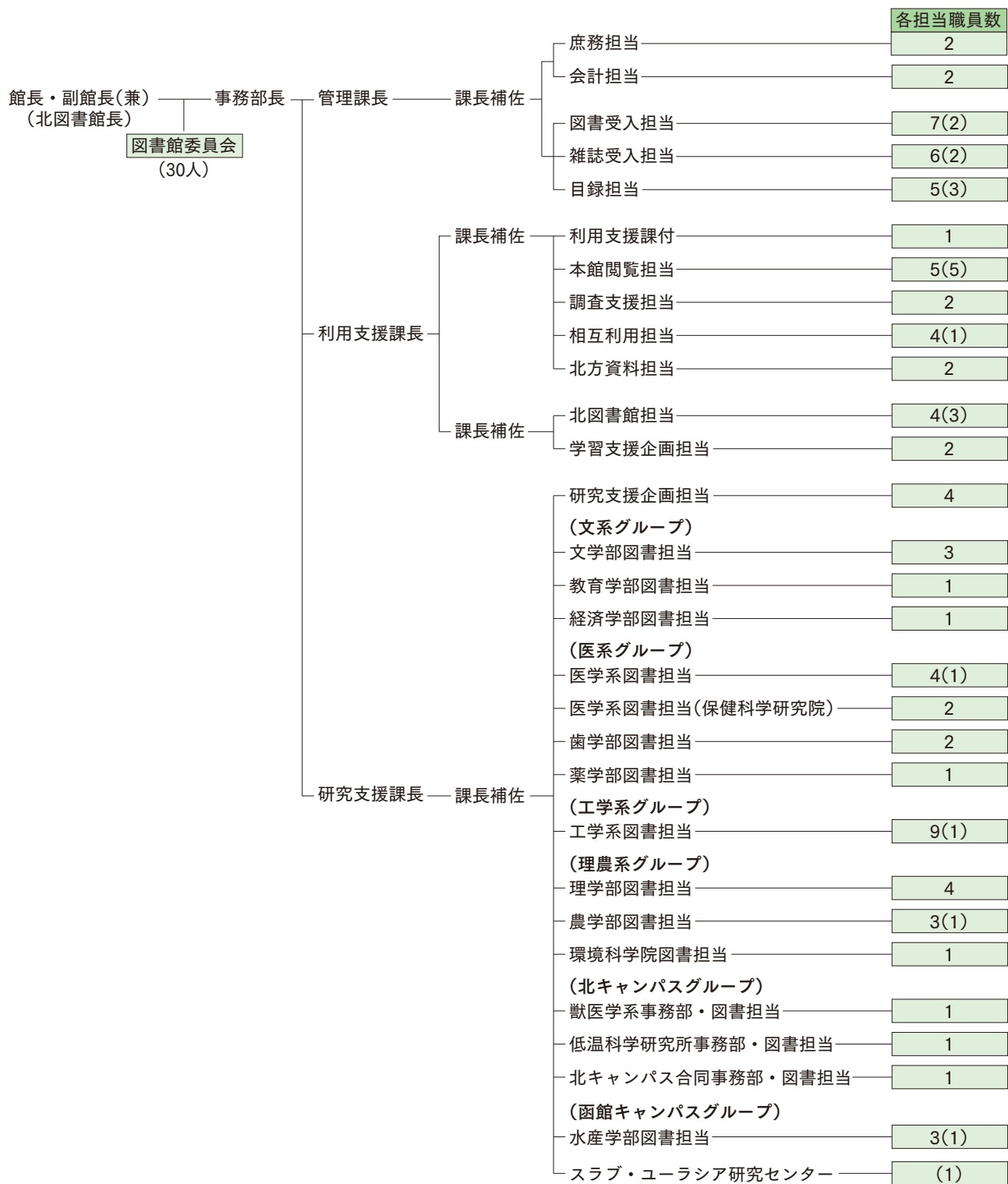
図書館委員会名簿

令和2年度図書館委員会委員名簿

令和2年4月1日現在

所 属	職 名	氏 名
理事・副学長	館長・副館長（兼）	長谷川 晃
大学院法学研究科	教 授	野 田 耕 志
大学院水産科学研究院	教 授	澤 辺 智 雄
大学院地球環境科学研究院	准教授	藤 原 正 智
大学院理学研究院	教 授	石 川 剛 郎
大学院薬学研究院	准教授	黒 木 喜美子
大学院農学研究院	准教授	尾之内 均
大学院先端生命科学研究院	教 授	相 沢 智 康
大学院教育学研究院	教 授	横 井 敏 郎
大学院メディア・コミュニケーション研究院	准教授	増 田 哲 子
大学院保健科学研究院	准教授	宮 崎 太 輔
大学院工学研究院	教 授	加美山 隆
大学院経済学研究院	教 授	韓 載 香
大学院医学研究院	教 授	篠 原 信 雄
大学院歯学研究院	准教授	吉 村 善 隆
大学院獣医学研究院	准教授	小 林 篤 史
大学院文学研究院	教 授	金 沢 英 之
大学院情報科学研究院	准教授	有 田 正 志
大学院公共政策学連携研究部	准教授	田 中 啓 之
北海道大学病院	教 授	坂 本 直 哉
低温科学研究所	准教授	青 木 茂
電子科学研究所	准教授	近 藤 憲 治
遺伝子病制御研究所	教 授	園 下 将 大
触媒科学研究所	准教授	飯 田 健 二
スラブ・ユーラシア研究センター	准教授	兎 内 勇津流
高等教育推進機構	准教授	亀 野 淳
附属図書館事務部	部 長	相 原 雪 乃
附属図書館管理課	課 長	佐 藤 初 美
附属図書館利用支援課	課 長	米 谷 昌 代
附属図書館研究支援課	課 長	結 城 憲 司

組織図 (令和2年4月1日現在)



※()内は非正規職員で外数

職名	事務部長	課長	課長補佐	係長	係員等	合計
計	1人	3人	4人	28人	55(21)人	91(21)人

※()内は非正規職員で外数



北海道大学附属図書館年報 2020

発行 令和 2 年 9 月

編集 北海道大学附属図書館

〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目

TEL : 011-706-2967 FAX : 011-747-2855

Homepage : <https://www.lib.hokudai.ac.jp>

Facebook : <https://www.facebook.com/hokudailibrary>

Twitter : https://twitter.com/Hokudai_Library



Homepage



Facebook



Twitter